

国際センター活動記録・データ集

【活動記録】

2008年度国際センター体制／関係委員一覧	47
2008年度国際センターの1年	48
国際センター通信Vol.1～7	50
2008年度留学生別科体制	64
2008年度留学生別科時間割	66
2008年度留学生別科授業・講義 受講状況	68

【データ集】

交換留学生数推移（受入・派遣） 大学別	73
留学生数推移（受入） 在籍区分別	74
留学生数推移（受入） 所属別	75
留学生数推移（受入） 国別	78
短期受入プログラム参加人数	81
留学生別科 志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別	82
留学生別科学生進路先	85
交換留学生数推移（派遣） 学部別	86
私費留学生数推移（派遣） 学部別	87
BIEプログラム参加者数推移 学部別	87
私費留学生数推移（派遣） 国別	88
サマーセッション・スプリングセッション 参加人数	89

2008年度国際センター体制／関係委員一覧

国際センター長 BRADLEY William S. (国際文化学部教授) 留学生別科長を兼ねる

委員会名		長		文学部	経済学部	経営学部	法学部	理工学部	社会学部	国際文化学部	短期大学部
国際センター会議 派遣留学生選考委員会 国費留学生選考委員会 京都府名誉友好大使選考委員会 私費派遣留学生奨励奨学金選考委員会	教授会選出	BRADLEY William S.	室住 賢一	福本 宰之	KRAWCZYK Mariusz K.	WRIGHT Thomas A.	桂 文子	杉山 吉彦	青山 豊	二葉 晃文	川崎 昭博
第一次派遣留学生選考委員会		BRADLEY William S.			田尻 英三		稲垣 宏明				
留学生別科運営会議	教授会選出	BRADLEY William S.		川島 優子	松島 泰勝	由井 浩(前期) 本田英夫(後期)	近藤 久雄	YENIK Stephen C.	新田 光子	カドネルシルヴァン	川崎 昭博
	授業担当委員					北川 逸子 由井 浩(前期) 本田英夫(後期)	稲垣 宏明	後藤 義昭	新田 光子	松居 竜五	
留学生別科入試小委員会		BRADLEY William S.			田尻 英三		稲垣 宏明				
沼田奨学金委員会	部局長会 (総務局長を除く)	議長：学長 事務担当局長として BRADLEY William S.			田尻 英三						
センター年報編集委員会		BRADLEY William S.			田尻 英三 KRAWCZYK Mariusz K.		稲垣 宏明				
RUBEC教務会議		BRADLEY William S. 津守	室住 賢一								

国際部事務部長 室住 賢一
 国際部課長 津守 淨子
 国際部課員 園 成夫・久志 敦男・世雄 理博・陳 丹妮・Charmaine Tan (12月末まで)・広田 真代・吉田 範子・川瀬さやか

2008年度国際センターの1年

- 4月1日 火 入学式（別科11名・交換生23名）・別科常任会①
4月7日 月 ウェルカムパーティー（4地下）
4月10日 木 第1学期授業開始
4月13日 日 龍谷会館WP
4月17日 木 チューター・ミーティング①
4月18日 金 別科常任会②、大宮荘WP、別科9月入学試験出願開始（～5/7）
4月19日 土 向島WP
4月25日 金 国際センター会議①
-
- 5月10日 土 LM間宮WP
5月13日 火 別科運営会議①
5月16日 金 チューター・ミーティング②
5月22日 木 茶道体験（日本文化入門）
5月27日 火 別科常任会③・別科運営会議②
5月30日 金 国際センター会議②
-
- 6月13日 金 国際センター会議③
6月17日 火 別科フィールドトリップ（大山崎山荘美術館・サントリー京都ビール工場）、チューターミーティング③
6月26日 木 書道ワークショップ（日本文化入門）
-
- 7月1日 火 別科常任会④
7月4日 金 広島平和プログラム
7月5日 土 広島平和プログラム
7月6日 日 広島平和プログラム
7月7日 月 大宮荘BBQP
7月14日 月 チューター・ミーティング④
7月16日 水 第1学期授業終了
7月18日 金 国際センター会議④
7月25日 金 フェアウェルパーティー（4地下）
7月29日 火 日本語担当者会議①
-
- 8月1日 金 別科運営会議③
8月2日 土 LM間宮FP
8月4日 月 チューター・ミーティング⑤
8月6日 水 龍谷会館FP
-
- 9月8日 月 別科常任会⑤
9月9日 火 チューター・ミーティング⑥
9月17日 水 修了証書授与式（別科8名）・入学式（別科22名・交換生38名）
9月22日 月 第2学期授業開始
9月26日 金 国際センター会議⑤、別科4月入学出願開始（～10/15）

9月27日 土 龍谷会館WP

10月3日 金 ウェルカムパーティー（6Fグリル）
10月8日 水 別科常任会⑥
10月10日 金 別科運営会議④、大宮荘WP
10月16日 木 チューター・ミーティング⑦
10月18日 土 LM間宮WP
10月21日 火 別科常任会⑦
10月23日 木 茶道体験（日本文化入門）
10月24日 金 別科フィールドトリップ（醍醐寺）
10月31日 金 入試小委員会・国際センター会議⑥

11月7日 金 別科運営会議⑤
11月11日 火 国際センター会議⑦
11月14日 金 チューター・ミーティング⑧
11月25日 火 別科常任会⑧

12月4日 木 書道ワークショップ（日本文化入門）
12月15日 月 留学生交流会年末パーティー
12月16日 火 チューター・ミーティング⑨
12月18日 木 能・狂言入門（日本文化入門）
12月19日 金 国際センター会議⑧、大宮荘クリスマスP、LM間宮クリスマスP
12月23日 火 龍谷会館クリスマスP
12月25日 木 向島クリスマスP

1月9日 金 チューター・ミーティング⑩
1月16日 金 国際センター会議⑨・別科常任会⑨
1月19日 月 第2学期授業終了
1月26日 月 フェアウェルパーティー（6Fグリル）
1月29日 木 別科常任会⑩

2月3日 火 日本語担当者会議②
2月5日 木 国際センター会議⑩
2月6日 金 別科運営会議⑥
2月9日 月 チューター・ミーティング⑪
2月11日 水 LM間宮FP
2月18日 水 別科常任会⑪
2月24日 火 日本語コーディネーター会議
2月28日 土 国際部部署別研修（京都ホテルオークラ）

3月6日 金 国際センター会議⑪
3月12日 木 修了証書授与式（別科 名）
3月17日 火 チューター・ミーティング⑫



国際センター通信

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

創刊号 (Vol. 1)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intlryukoku.ac.jp/>

国際センター長挨拶 一創刊にあたってー

本学の国際センターは1988年に開設され、主に、学生交換協定の締結や、国際交流一般協定の締結を推進してきました。また、私費留学生への情報提供や留学指導、英語コミュニケーションコースとの連携、全学共通の語学研修プログラムとの連携も行っております。さらに2006年夏からは、RUBeC (Ryukoku University Berkeley Center) の開設・運営やRUBeCを活用したBIE Programを教育学部と共に推進するなど、活動の範囲は飛躍的に拡大しております。教育プログラム以外では、私費受入留学生の生活支援(寮、奨学金、健康保険、住宅保証制度、入国管理など)、国費留学生の受入拡大などにも取り組んで参りました。これらの情報を本学の構成員(教職員、学生)にニュースとして発信し、国際センターの取り組みを広く理解していただくことの助力になればと考えています。2008年1月からはパイロット版として教職員向けに発行し、2009年度からは学内外へ印刷物・ホームページを介して積極的な発信を行うことを予定しています。

国際センター長 William Bradley

2007年度 新規協定大学・機関

2007年度に締結した「学生交換協定」や「国際交流一般協定」は次の通りです。

「学生交換協定校」

クワズール・ナタール大学/南アフリカ (2007.5.11 締結)
バレンシア大学/スペイン (2007.6.20 締結)
大連工業大学/中国 (2007.6.29 締結)
東テネシー州立大学/アメリカ (2008.1.25 締結)

「国際交流協定校」

中韓佛学研究所/中国 (2007.3.15)
インド工科大学カラグプル校/インド (2007.5.23)

	募集締切	派遣期間
クワズール・ナタール大学	2008年5月15日	2009年2月～11月
バレンシア大学	2008年5月15日	2009年2月～2010年2月
	2008年11月15日	2009年9月～2010年7月
大連工業大学	経営学部生を対象としており、経営学部で募集を行う	
東テネシー州立大学	2008年12月6日	2009年7月～2010年5月

トピック

バレンシア大学訪問 (新規学生交換協定校)

バレンシア大学は、マドリード、バルセロナに次ぐスペイン第三の都市バレンシア市の中心部にあります。その歴史は、13世紀半ばのバレンシア大聖堂付属文法学校にさかのぼり、1412年に「一般教育学校(Estudi General)」となり、その後1502年に教皇庁とスペイン国王から認可を受けて正式な大学となりました。

現在のバレンシア大学は、バレンシア自治政府の公立大学(スペインでは自治制度が確立しており、教育権限についても各自治州に委譲されている)として、14学部、約4万5千人の学生数を有しています。スペインを代表する総合大学の一つですが、これまで日本の大学との交流は少なく、本学が早稲田大学に続いて2校目の学生交換協定校です。

バレンシア大学に留学する本学の学生は、DELE(スペイン文部科学省認定のスペイン語検定試験)対策クラスにてスペイン語を学ぶ他、自分の専門とする学部の授業を登録することができます。経済学部などでは英語で行なわれる授業も多数あるので、スペイン語と英語の両方を使って学ぶことも可能です。



(バレンシア市)

バレンシア市は地中海に面し、その起源はフェニキア、ギリシア時代にさかのぼり、2世紀以降はローマ都市として栄えました。中世の間は、長くイスラム教徒の支配下にありましたが、彼らの持ち込んだ先進的な灌漑技術により、現在の豊かな米作地帯の基礎が築かれました(日本でも有名なパエリアはその産物です)。近年のバレンシアは、農業、サービス業、製造業(フォードの工場がある)が盛んで、毎年3%台の成長を続けているスペイン経済の中でも、その存在は際立っています。

(文学部准教授 安藤真次郎)

BIE Program のコンセプト

教育プログラムを構築する場合に、常に考慮すべきファクターが3つあると言われています。第一は知識 (Knowledge)、第二は姿勢・態度 (Attitude)、第三は技術 (Skill) です。日本の大学教育を含めこれまでの留学プログラムでは「K」と「S」が重視されてきました。日本の大学教育での「K (知識)」は理論や教養、「S (技術)」は実験や語学トレーニング、コンピュータなどの分析方法です。日本の大学教育での「K (知識)」と「S (技術)」に関する教育の蓄積は多大なものがありますが、「A (姿勢)」に関してはほとんど無いと言えます。直接的に現実社会と連携させる教育プログラムでは、「A (姿勢)」を通して、既に身につけている「K (知識)」と「S (技術)」の現実妥当性を検証すると同時に、新たな「K (知識)」と「S (技術)」を獲得するという教育効果が期待されています。

BIE Program では、この3つのファクターに当てはめ、「K (講義)」、「A (インターンシップ/ボランティア活動)」、「S (英語)」を有機的に配置することで、英語運用能力の向上と共に、広い視野と柔軟な発想、多民族共生社会について、知識と体験の両面から学び、帰国後には学内でも報告会を実施し、留学経験を発表するプレゼンテーション能力を養うことをコンセプトとしました。

(前国際センター長 河村能夫)



< 次回の BIE Program 報告会 >

2008年4月予定

(詳しくは <http://intltryukoku.ac.jp/explanation/index.html>)

< 派遣決定人数 >

BIE (5-week spring) Program <2008年2月16日~3月28日> 29名

BIE (Spring semester) Program <2008年3月27日~7月27日> 23名

その他

日本における国際交流

～ 留学生寮 学生生活アドバイザー ～

龍谷大学には4つの留学生寮があります。各寮には、学生生活をサポートする留学生寮 学生生活アドバイザー (通称 留学生寮チューター) たちが同居しています。留学生寮チューターたちは、外国人留学生と一緒に寮生活を送りながら、留学生たちの日常生活サポートや寮運営のための日常管理も行います。普段から生活を共にしている留学生寮チューターたちは、外国人留学生にとって最も身近な存在です。

各寮では定期的にはパーティーなどのイベントも行われ、寮生たちが少しでも日本での生活を有意義に過ごせるようチューターたちが日々頑張っています。



4名の留学生在京都市府名誉友好大使に採用

平成19年度京都市府名誉友好大使の任命式が6月19日に京都市府公館で行われました。本学学生のノーリン キン レーニューさんが名誉友好大使を代表して、任命にあたっての決意を述べました。

「名誉友好大使本年度採用者」

- ・ティン マー ウー (ミャンマー・文学部)
- ・ノーリン キン レーニュー (ミャンマー・経済学部)
- ・劉 嘉 (中国・経営学研究科)
- ・コンカーラッタナラック ブラボンサク (タイ・文学研究科)

名誉友好大使155名中、本学生は23名(卒業した学生を含む)です。名誉友好大使は、研修や視察等への参加によって京都市府への理解を深め、京都市府の国際化の「架け橋」として、府や市町村等の国際化事業への参加、府政への参画、提案など積極的に活動しています。今年も京都市府が行う会議やイベントの通訳、料理教室等の国際交流会や、映画のエキストラに至るまで、さまざまな活動に取り組んでいます。

沼田奨学金採用者

沼田奨学金は昭和54年、仏教の伝道に尽力された仏教伝道協会初代会長沼田忠範氏の寄付を機に設置されたもので、建学の理念である仏教精神を体し、海外及び国内において仏教伝道を志す学業人物ともに優秀な留学生、研究者にその学資を補助し、将来の大成を助成します。

2007年度は、学業奨学金として7名の学生、研究奨学金として8名の研究者が採用されました。研究者のほとんどは仏教文化研究所に所属し、特定研究課題について本学アドバイザーのもとに研究を行う他、学内の講演会などで発表しています。

http://intltryukoku.ac.jp/english/html/ship_top.html

< ビザに関するお知らせ >

英国の留学ビザ申請手続きが11日より下記の通り変更となりました。英留で6ヶ月以上滞在予定の方が対象です。滞在が6ヶ月未満の場合は、ビザを申請する必要はなく、今回の変更による影響はありません。

- 1) 英国に入国するビザを申請する方は全て、駐日英大使館ではなく、新たに設置される東京・大阪のビザ申請センターを通して申請することになります。
- 2) 国籍にかかわらず、ビザの申請者は必ずビザ申請センターに本人が出席申請することが義務づけられます。同センターでは、フィンガースキャン (指紋採取) とデジタル写真の撮影が行われます。

詳細は http://www.uknow.or.jp/be/embassy_news/E000642.htm

アメリカのビザ申請料金が、2008年1月1日より、非移民ビザ申請料金が\$100から\$131に変更されました。詳しくは、下記アメリカ大使館ホームページをご覧ください。

詳細は <http://ajyou.embassy.gov/ja/visa/visa-important.html>



国際センター通信

Vol. 2 (発行日 2008.03)

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intl.ryukoku.ac.jp/>

トピック

インド工科大学・カラグプル校訪問 (新規/国際交流一般協定校)

インド工科大学・カラグプル校は、現在7校あるインド工科大学の最初のインド工科大学(IIT)として、1951年に設立されました。インド工科大学カラグプル校は、インド政府から Institute of National Importance の称号を与えられており、本館(写真)には、“Dedicated to Service of the Nation” との標語が掲示されています。



インド工科大学・カラグプル校本館

(カラグプル市) コルカタ(旧カルカッタ)から東へ約120kmの場所にあり、周囲には観光の対象となるようなものはない鉄道の要衝です。なぜこのような場所にあるのでしょうか？実はこの場所は、独立以前はインド独立の闘士(Freedom fighters)を収容する Hiji 収容所であり、インドの独立にとって重要な場所なのです。インド工科大学・カラグプル校のキャンパスは、広さ8.5km²の大学町であり、講義棟、学科棟、研究所、教員宿舎、学生寮、マーケット、ゲスト・ハウスなど、すべての施設がキャンパス内にあります。教員数約470名、従業員約1,930名、学部生約3,000名、大学院生約2,500名のインドのトップランクの大学です。

(一般協定の締結) 2007年6月に発効した本学とインド工科大学・カラグプル校との間の学術研究・教育活動促進に関する一般協定の締結後、本学からの初めてのインド工科大学への訪問として、龍谷大学国際センターを代表して、インド工科大学の国際交流担当の副学長、Professor M. Chakraborty を、2007年12月27日、表敬訪問しました。この際、龍谷大学からの記念品を手渡しました(写真)。龍谷大学は、仏陀の生誕地であるインドの大学との交流は、これまで少なかつたようです。インドは、豊富な資源とすぐれた人材に恵まれています。現在、IT分野のみならず製造業のすべての分野において、インドの発展と世界経済への影響がすでに顕著です。21世紀はインドの時代とささ予測されています。今回のインド工科大学との一般協定の締結が契機となり、龍谷大学とインド工科大学、すなわち日本とインド、との学術研究・教育・文化の交流がますます促進することを願っています。(理工学部教授 杉山吉彦)



トピック

クワズール・ナタール大学と南アフリカ (新規/国際交流一般協定・学生交換協定校)

南アフリカにおける高等教育再編成計画により、2004年1月、Natal 大学と Durban-Westville 大学は統合合併され、クワズール・ナタール大学となりました。本学は Natal 大学時代から交流について話し合いを行ってきましたが、2007年5月、アフリカで最初の大学として、国際交流一般協定、学生交換協定の締結に至りました。



クワズール・ナタール大学

この協定締結の話し合いが進んでいた2007年4月から、クワズール・ナタール大学で国外研究員として約一年間研究活動を行って来ましたので、いくつか印象的だったことを書かせていただきます。

(教育と施設) 教室における音響設備等は必ずしも十分に整備されているわけではないですし、学生が利用できるパソコンの台数も十分ではないように思われますが、教育熱心な教員が多いように感じました。また、東洋人が少ないので目立つのかもかもしれませんが、見ず知らずの教員や学生から声をかけられることが多く、フレンドリーな人が多いように感じました。留学の受け入れについては、図書館などの学内施設を利用させてもらったのはもちろんのこと、電話やパソコン(インターネットに接続可能)などが備え付けられた個人研究室を与えてもらえ、大学所有の車を貸与、研究を進める上で理想的な環境を与えてもらえました。なお、講義は主に公用語の1つである英語で行われています。

(南アフリカ) 南アフリカについてですが、アパルトヘイト撤廃後も、民族間の格差(主に経済的格差)は根強く残っています。そのことも影響して、治安はとても悪く、大きな社会問題となっています。犯罪の多さの他に、貧困、失業率の高さ、HIV/エイズなどの問題が深刻です。都市部では高層ビルが立ち並び、車も多く走っています。また、水道水が飲めるなどインフラ面もかなり整備されています。ただ、旧黒人居住区などでは、上下水道や電気などが通っていない住居が多いという現実もあります。また、都市部から離れると、自然保護区がたくさんあり、ライオンなどの野生動物を見ることが出来ます。この他にも喜望峯など観光スポットが数多くあります。このように南アフリカは多様な顔を持ったとてもエキサイティングな国です。

(短期大学部教授 阪口春彦)

上海からニハオ ～叶う夢、広がる世界～

橋 了道 (文学部史学科 2003年3月卒業)
大日本塗料株式会社 上海支社勤務

98年日中友好セミナー、99年上海師範大短期留学、00年北京師範大短期留学を通じて、中国語に出会い、リアルな中国に出会い、中国の人々に出会った。既に海外旅行に行かれた方は体感されていると思うが、異国の地へ赴きその地の言葉で意思疎通ができた時の喜びは格別なものがある。その喜びが更なる糧となり、交換留学を目指し精進していくこととなる。

当時、全学部で年間3人しか枠がなかった交換留学。努力が実り復旦大学へ、留学して一番カルチャーショックだったのが、中国の大学生達、彼らは必死である。非常に激しい競争の中で生き抜いていく辛さは想像を絶する。図書館が常に満席で皆100%以上の力で机に向かい、学業に励んでいる。この瞬間身が引き締まった。負けてはいられない！この出会いのお陰で非常に有意義な留学時代を過ごせたのであった。

「ビジネスの場面で中国語を活用したい」
「駐在で上海に戻ってこれたら・・・そして、あのマンションに住めたら・・・」

留学時代の夢が現実と化した。しかも、急先鋒での駐在。つまり、上海支社の立上げに携わったのである。入社3年目で駐在することになり、力不足の部分が多々ありながらも必死で補いながら様々な経験をさせてもらっている。新規営業開拓・自社スタッフ教育・品質マニュアル作成(700頁程を日本文・中国文並列で作成)など、日本本社に中国語ができるスタッフが僕以外いなかった為、かかる負担はかなり大きかったが、「やりがい」を感じることができていた為、僕は幸せだ。

企業として収益を上げることは非常に重要である。しかし、今僕は中国上海にいる。日本で普通に働くこととはわけが違う。単純に自分の会社の利益を求めただけではいけないのである。仕事をしつつも一方で日中関係がより良い方向に少しでも進むようにするにはどうしたら良いのかと常に問いかけながら過ごしている。どうしたら日本のことを好きになってもらえるのだろうか・・・と考えながら。



詳細なレポートは「龍谷大学留学ガイドー地球がキャンパスだー」にて
その他、下記卒業生からのメッセージも記載しています。

北村 愛子 <ウィリアム・アンド・メアリー大学 講師>
森井 徹 <新聞記者>
松尾 篤史 <在オマーン日本国大使館派遣員>



国際文化学部教務課(頼田)・文学部教務課(大宮)
国際部(深草)にて配布しています。

日本で就職したい海外人材(留学生、研究者)のための就職相談 JOB CAFE 海外人材ジョブカフェ事業 (無料/事前予約制)

KYOの海外人材活用推進協議会では、京都府における海外人材の活用を推進するため、留学生や研究者などの海外人材に対する就職に関する相談事業(無料)を行っています。

- ◆サービス: 就職相談(原則として常用雇用)
- ◆利用時間: 毎週水・土(13:00~17:00)
※2008年度にはさらに拡大される予定です。
- ◆対応言語: 日本語、英語および中国語(その他の言語は要相談)
- ◆申込み方法: メール・FAXで事前予約すること。
※申込書のフォームは国際部にあります。
TEL(075)414-4311 FAX(075)414-4314
E-メール kokusai@mailpref.kyoto.jp
- ◆場所: 京都府国際センター(京都駅ビル9階)内

ライオンズクラブより、台湾出身留学生5名に奨学金授与



2008年3月24日、市内ホテル会場にて開催された京都東ライオンズクラブの結成45周年の記念式典にて、同クラブと提携関係にある台北市東南国際獅子会との合同事業の一環として、
本学の台湾出身留学生5名に対し、奨学金が授与されました。式典には本学から若原学長が出席し、両クラブに感謝状を贈りました。

留学ガイド発行のお知らせ

本学では21世紀の国際社会で活躍する人材の育成を目的とした学生交換協定を15ヵ国30大学(2008年3月現在)と締結し、それに基づいて、毎年多くの学生を積極的に海外に送り出しています。

留学目的は、科目履修や語学能力の向上のみでなく、文化の異なる人々とのふれあいを通じた異文化共生、異文化間コミュニケーション能力の育成にもあります。他人への思いやり、自分の意見と異なる意見を持つ人を許容し認めあいながら、問題や課題を解決していく能力を養うのに絶好の機会です。

是非、多くの龍大生に本学の留学制度を利用して、異文化交流にチャレンジするよう学生に周知していただくために、本誌を活用していただければ幸いです。



国際センター通信

Vol. 3 (発行日 2008.05)



編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intl.ryukoku.ac.jp/>

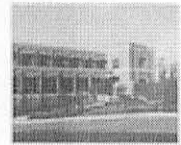
トピック

短期受入プログラム (米国から3大学を受け入れ)

ジョージアペリミターカレッジ (5月19日～6月13日、深草学舎) を皮切りに、南ミズーリ州立大学 (5月30日～6月28日、深草学舎)、カリフォルニア大学デービス校 (6月29日～7月27日、瀬田学舎) の米国3大学が、本学を拠点として独自のプログラムを展開します。これらのプログラムをサポートするのは、本学の学生バディ (35名)、学生チューター (26名) 達で、国際部と連携しながら計49名の短期受入留学生との日米学生間交流を積極的に推進していきます。それぞれのプログラムの具体的な内容は下記のとおりです。

【ジョージア ペリミター カレッジ】

1. 大学名
Georgia Perimeter College
2. 受入留学生数
20名 ※引率教員3名
3. プログラム期間
5月19日 (月) ～6月13日 (金)
4. プログラム内容
日本語授業、映画・音楽・文学・建築などを通して人文学授業を行う他、法学部ジャフィー教授による世界の宗教やフィールドトリップも実施される。
5. サポート体制
本学の学生バディ35名がサポートする (南ミズーリ州立大学と共通)。



【南ミズーリ州立大学】協定校/宿舎：龍谷会館

1. 大学名
Missouri Southern State University
2. 受入留学生数
6名 ※引率教員2名
3. プログラム期間
5月30日 (金) ～6月28日 (土)
4. プログラム内容
夏期集中日本語プログラム
5. サポート体制
本学の学生バディ35名がサポートする (ジョージアペリミタカレッジと共通)。

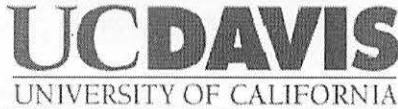


Welcome Party for
MSSU &
Georgia Perimeter College
の様子



【カリフォルニア大学デービス校】協定校/宿舎：龍谷荘

1. 大学名
University of California, Davis
2. 受入留学生数
26名 ※引率教員2名
3. プログラム期間
6月29日 (日) ～7月27日 (日)
4. プログラム内容
日本のコミュニティと日常生活、フィールドトリップ
5. サポート
本学の学生チューター26名が龍谷荘に宿泊しサポートする。※1週間各6名、週間チューター常駐2名



【アジア人財資金構想 高度実践留学生支援事業】

この事業は昨年度（平成19年度）秋に経済産業省が開始したもので、日本を地域ブロックに分け、それぞれに管理団体となるコンソーシアムを形成して支援事業の実施にあたります。京都府の管理団体は、「KYOの海外人材活用推進協議会」（事務局：京都府）です。事業の目的は、日本企業に就職を希望する、能力・意欲の高い留学生（アジア以外も対象）を、人材育成から就職までの一連の支援を通じ、産業界で活躍する人財に育成することです。

内容は、「ビジネス日本語」「日本ビジネス教育」「社会人基礎力」「インターンシップ」からなり、就職支援のためのカウンセリングも行われます。昨年度の本学参加者は14名で、京都地域54名（私立47、国公立7）の26%を占めており、現在も支援事業を受講しています。平成20年度の本学応募者は12名で、6月初旬に京都府の管理団体が実施する、新たに課されることになった選考面接を受けることになります。



【スピーキングパートナープログラム ～ 海外交流委員会 ～】

スピーキングパートナープログラムとは、日本人学生と留学生が、キャンパスやキャンパス外で、語学学習などの相互支援等を通じて交流するプログラムです。同様のプログラムは海外の大学でも良く実施されており、龍谷大学においても、学生会団体である海外交流委員会が2006年度よりプログラムを開始しました。

2006年度のプログラム開始当初は、英語・中国語・韓国語の3言語で募集し、パートナーとして成立したのはたったの3組でしたが、2008年度前期の募集では、ドイツ語を加えた4言語で募集したところ、成立したパートナー数は30組にまで増えました。最近ではただパートナーを成立させるだけでなく、パートナー成立後も定期的に一緒に参加できるイベントを企画しています。

プログラム開始から3年が経過し、応募者や成立するパートナー数も増加してきていますが、今後もより多くの学生にこのプログラムを知ってもらい、大学内でできる国際交流の1つとして、積極的に参加してもらいたいと思います。



【BIE(5-weeks summer) Programに23名の応募がありました。】

2006年からスタートしたBIE Programはこれまで220名を超える学生を派遣してきました。今回募集したBIE(5-week summer) Program（実施期間：8月8日～9月21日）には23名の応募があり、全員が派遣されることが決定しました。

現在は、渡航手続に関するオリエンテーション（全3回）、現地での活動に関するプレゼンテーションを中心とした事前授業（全6回）がスタートし、8月からの海外研修に向けて、取り組んでいます。



Glide Church でのインターンシップの様子

【留学生別科入試（9月入学）の応募者と結果】

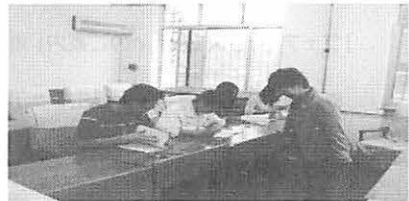
1. 出願者 66人（中国44、米国6、台湾3、英国2、イタリア2、その他9ヶ国各1）
2. 合格者 36人（中国21、米国5、台湾2、イタリア2、その他6ヶ国各1）

留学生別科は、入学試験の願書及び出願書類を、2年前に大学Web上からダウンロードできるようにしたこと、また、近年の日本ブームの影響からか、出願者の多国籍化が徐々に広がってきました。

【中国：河北大学で留学生別科の現地面接を実施しました。】

「龍谷大学留学生別科と河北大学国際合作処との留学生受入に関する協定書」に基づき、5月17日（土）に現地面接を実施しました。推薦された4名の学生は、2時間半にわたり、筆記試験や個別面談などの試験を受け、その結果、3名になりました。

1. 面接教員 北川逸子教授（経営学部）
2. 面接対象 河北大学推薦の学生4名
3. 面接場所 河北大学国際教育服務中心
4. 面接時間 2008年5月17日（土）16:00～18:30



【京都地域留学生住宅保証制度について】

この制度は、府内の大学、京都府、京都市、地域国際化協会、関係団体等で構成する「京都地域留学生住宅保証機構」が運営するもので、外国人留学生が民間アパート等へ入居するために必要な連帯保証人を機関保証により確保し、連帯保証人を探す困難さと保証人の精神的・経済的負担を軽減し、留学生の民間宿舎等への円滑な入居を支援することを目的としています。留学生が住宅総合補償（海外旅行保険と保証人補償金を組み合わせたもの）に加入し、万一保証人が家主から保証債務の履行請求を受けた場合に備えます。平成20年3月から賠償保険の補償額の引き上げと保険料の引き下が行われ、補償の範囲も改定されました。来日間もない留学生が民間アパート等に円滑に入居できるよう、本制度の利用をお奨めします。申し込みは深草学舎国際部です。





国際センター通信

Vol 4 (発行日 2008.07)

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intl.ryukoku.ac.jp/>

トピック

【学生交換協定・一般協定情報】

●ワルシャワ経済大学と学生交換協定を新規に締結

6月12日開催の部局長会の承認に基づき、ワルシャワ経済大学と学生交換協定を締結しました。本学とワルシャワ経済大学とは1980年5月に研究員交換協定を締結して以来、経済学部教員を中心に積極的な学術研究交流が行われてきました。

ワルシャワ経済大学(ワルシャワ、ポーランド)は1906年に設立されたポーランド最古の経済大学で、学部構造を持たず、71の学科・インスティテュートが、経済分析・社会経済・マネジメント・ファイナンス、経営管理、世界経済の5つのグループに編成されています。英語での授業が数多く開講されていることに加え、学生バディシステムが導入されているため、ワルシャワ経済大学生から1対1での語学の勉強や留学生活についてのサポートが受けられることが最大の魅力です。なお、学生交換は2009年度から開始されます。

Warsaw School of Economics
Szkoła Główna Handlowa (SGH)



●国立台湾師範大学と学術研究・教育研究活動に関する覚書を締結

6月19日開催の部局長会の承認に基づき、国立台湾師範大学と学術研究・教育研究活動に関する覚書(MOU)を締結します。国立台湾師範大学は1946年に設立され、学生数11,000人、3キャンパス8学部を擁する総合大学で、外国人留学生向けに中国語と中国文化を教授するMandarin Training Centre(中国語トレーニングセンター)が非常に有名です。また、現在、学生交換協定の新規締結に向けて最終調整を行っています。



●ミドルセックス大学と学術研究・教育研究活動に関する覚書を締結

6月26日開催の部局長会の承認に基づき、ミドルセックス大学(英国)と学術研究・教育研究活動に関する覚書(MOU)を締結します。ミドルセックス大学は3つのCollegeを母体として1992年に設立された新興大学で、学生数22,000人(内、留学生の数5,500人)、4キャンパス4学部を擁する総合大学です。

Intensive Academic English コースやインターンシップなどの学部短期留学コースが充実しており、日本人留学生の受け入れを積極的に推進しています。

今後は、学生交換協定の締結に向けて協議を重ねていく予定です。



【フェアウェルパーティのご案内】※教職員・学生参加自由

●交換留学生&留学生別科生フェアウェルパーティを開催!

1. 日時 7月25日(金) 17:00~18:30
2. 場所 深草学舎4号館地下食堂



●UC-RYUKOKUプログラムフェアウェルパーティを開催!

1. 日時 7月25日(金) 17:30~19:30
2. 場所 瀬田学舎青志館食堂

UCDAVIS
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



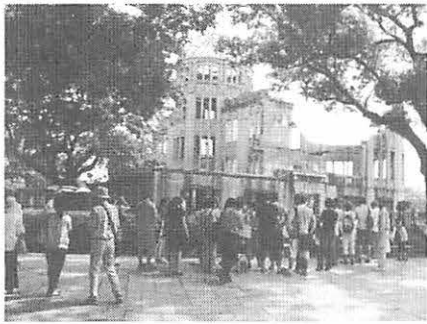
【広島平和プログラムを実施】

●留学生20名が参加！

本学留学生20名が7月4日（金）～6日（日）の2泊3日で「広島平和プログラム」に参加しました。

このプログラムは、「本学で学ぶ留学生を広島のに招待し、平和について深く考え学んでほしい」という浄土真宗本願寺派安芸教区教務所（広島別院）の好意により、1994年から始まったもので、今年で14回目の参加となりました。

原爆ドームや広島平和記念資料館の見学、広島別院の「平和を願う念仏者の集い」（平和を語る集い・全戦争死没者追悼法要）への参加、日本人家庭へのホームステイ等を通じて、当時の敵味方の区別を取り払い、国籍を越えて平和について考えさせてくれる貴重なプログラムとなりました。



今年も例年通り公募で参加者を募り、多数の参加希望者の中から選ばれた11ヶ国（地域）出身20名の留学生が広島を訪れました。

これまでこのプログラムに参加した留学生は28ヶ国（地域）出身201名に及びます。今回も参加者全員が広島で「平和の大切さ」「戦争の悲惨さ」を身をもって感じ、再び戦争を繰り返すことのないよう、平和の実現に向けて心を新たにする大変貴重な体験をしました。

日程は次のとおり

7月4日（金）

- 正午広島駅到着
- 広島別院参拝・昼食
- 平和学習（平和公園・資料館）
- 夕方 歓迎懇親会の後、
- ホームステイ先へ＜宿泊＞

7月5日（土）

- 広島別院に移動
- 午前「平和を語る集い」
- 午後「全戦争死没者追悼法要」
- 終了後、ホームステイ先へ＜宿泊＞

7月6日（日） ホームステイ（宮島観光等）

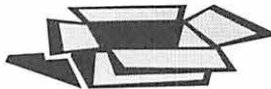
広島駅から新幹線で京都へ



【国際部・インターナショナルラウンジ・留学生別科講師控室移転のお知らせ】

●事務組織改革に伴い、国際部・インターナショナルラウンジ・留学生別科講師控室が、下記のスケジュールにて移転いたします。

- 8月2日（土）～3日（日） 2号館地下ラウンジへ移転
- 8月4日（月）～10月31日（金） 2号館地下仮設事務室にて開室
- 11月1日（土）～3日（祝） 紫英館1階現保健管理センターへ移転
- 11月4日（火）～ 紫英館1階国際部として開室



引越します！



国際センター通信

Vol 5 (発行日 2008.10)

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intl.ryukoku.ac.jp/>

トピック

●国立台湾師範大学と学生交換協定を新規に締結

台湾師範大学と学生交換協定を締結しました。前号にてご報告したとおり、台湾師範大学とは既に学術研究・教育研究活動に関する覚書(MOU)を締結しており、国際連携の強化に向けて更に前進しました。本学学生にとって国立台湾師範大学は、外国人留学生向けに中国語と中国文化を教授する Mandarin Training Centre (中国語トレーニングセンター) が充実しているという利点があります。

中国語・中国文化の教授には非常に定評があり、世界数十ヶ国から約1,500人の留学生が学んでいます。学生交換の開始は2009年度からで、1年につき各大学2名までの派遣が可能になります。



●カナダの大学との学生交換協定締結に向けて前進中!

6月28日(土)～7月6日(日)のスケジュールで、ライトセンター委員(経営学部教授)、津守国際部課長がカナダ出張を行い、下記の5大学と学生交換協定締結の可能性について協議しました。現在、カナダには学生交換協定校がないため、留学人気の高いカナダ地区の大学の開拓は喫緊の課題となっていました。

その結果、King's University College (The University of Western Ontario) については、協定締結に向けての最終調整が終了し、現在諸会議において審議中です。また、他の大学についても協議を進めています。

【訪問大学】

Université de Montréal ケベック州 モントリオール
Huron University College (The University of Western Ontario) オンタリオ州 ロンドン
King's University College (The University of Western Ontario) オンタリオ州 ロンドン
The University of Winnipeg マニトバ州 ウィニペグ
Kwantlen University College ブリティッシュコロンビア州 バンクーバー

●Antioch Buddhist Studies ウェルカムパーティを開催しました。

龍谷大学の学生交換協定校である Antioch College が実施する Buddhist Studies Program が、9月8日～12月2日の日程で大宮学舎を中心として実施されています。このプログラムにはアメリカ各地の大学から17名の学生が参加しており、約3ヶ月間に渡り仏教について学びます。プログラムは毎朝5時起床、掃除・座禅・朝食を済ませた上で、午前8時から正午まで宗教や仏教、日本語の授業を受講するという内容です。この他寺院ステイや各種フィールドトリップもプログラムに盛り込まれています。

そのウェルカムパーティが9月30日(火)17:30から大宮学舎清和館2階で行われ、約50名が参加しました。

深草学舎、瀬田学舎ではいくつかの短期受入プログラムが開催されていますが、大宮学舎での開催は今年この企画が初めてとあって、参加した日本人学生からは「非常に有意義な時間を過ごすことができた。」というコメントが寄せられました。



●交換留学生・留学生別科生ウェルカムパーティを開催

交換留学生及び留学生別科生のウェルカムパーティが、10月3日（金）17:00より紫英館6階グリルにて行われ、交換留学生や別科生を始め、寮チューター・海外交流委員会・教職員など併せて約100名が参加し、盛大に開催されました。よさこいサークルロンドによる踊りや国際部によるクイズなど、終始和やかな雰囲気で行われ、交流を深めました。

ちなみに、今年の後期入学の交換留学生は37名、留学生別科生は22名です。



●BIE REUNION PARTY in ANNIE'S CAFÉ が開催されました。

BIE Programには2006年の5-Weeks Summer Program以降、現在派遣中のメンバーも含めて10グループ総勢284名が参加しました。学生主催のREUNION PARTYが10月4日開催されました。今回は各自、志向を凝らしたコスチュームを身にまとっての参加で、グループの枠を超えて約80名一体となって盛り上がりました。

歴代のグループ代表者からの挨拶では、BIE終了後に交換留学生として派遣が決定した学生やパークレーに近々訪問予定の学生、就職が決まった学生、さらにパークレーでスピーキングパートナーとしてお世話になったUCパークレー学生からのメッセージが紹介されるなど、参加者は羨望の眼差しで彼らを見つめ、刺激を受けた様子でした。

また、今回は学生がお世話になったESIのクリス先生や事前指導の先生方も参加していただき、学生たちが英語を駆使してコミュニケーションをとる姿があらこちで見受けられました。





国際センター通信

Vol. 6 (発行日 2008.12)

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
http://intl.ryukoku.ac.jp/

トピック

●キングス・ユニバーシティ・カレッジ (カナダ) と学生交換協定並びに一般協定を新規に締結

西オンタリオ大学キングス・ユニバーシティ・カレッジ (以下 King's) と、学生交換協定並びに学術研究・教育活動促進に関する一般協定を締結しました。

King's は、カナダ・オンタリオ州ロンドンにある西オンタリオ大学加盟のリベラルアーツユニバーシティカレッジで、1954年に設立され学生数3,100人と規模の小さい大学です。カナダで初の学生交換協定校となった King's には、大学院はなく、経済学・経営学、歴史、言語、哲学と宗教など併せて10学科があります。語学学校は併設していませんが、インターナショナル学生のために1週間かけて行われるオリエンテーション (International Students' Bridging Program

: 有料) や留学から帰国した King's の学生とペアになりフィールドトリップ等に参加する International Peer Guide Program など支援プログラムも充実しています。既に、2008年度第3期派遣交換留学生として募集を締め切った結果、3名の応募があり、2009年2月に最終選考を実施します。



●経済学研究科のユニアルシー (インドネシア) さんが、京都市主催「京の魅力発信」を考えるシンポジウムの円卓会議に参加しました。

2008年11月5日の門川京都市長記者会見において、京都市は国際化推進プランとして、現在市内に約4,500人在住する留学生を、平成29年度までに1万人に倍増させる計画であり、そのための住居整備に取り組むことが発表されました。この、「国際化推進プラン」の一環として、「京の魅力を世界の人々に発信する」ことについて考える「国際都市・京都の魅力向上・発信シンポジウム」が、12月2日 (火) に京都公会館で開催されました。

円卓会議参加者は、ユニアルシーさんを含め留学生3名 (インドネシア、中国、カナダ)、日本人学生3名と、立命館大学教授 (孔子学院院長)、基調講演をされたアレックス・カー氏、旅行社社長の9名、そして、コーディネーターは、高木氏 (京都市国際交流会館館長) が担当されました。ユニアルシーさんを始め留学生の参加者からは、歴史的建造物や日本の伝統的な文化を感じる事のできる京都で暮らせる事に魅力を感じている一方で、留学生や外国人観光客などにとって電車やバスなどの交通網のわかりにくさ、日本語のみの標識表示や案内などが多い事への不満も報告されました。また、今後京都が国際都市としてさらに発展し、世界に認知される都市になるためにはという質問に対しては、京都に在住する日本人自身が日本文化に対する意識を高め、一人一人から発信して行く事の大切さ、伝統を守りつつも新しいものを取り入れる勇氣、開かれた精神、観光地の混雑緩和などがあげられました。

さらに、「京都議定書 (KYOTO Protocol)」により京都という町は全世界に知られており、環境問題に積極的な取り組みが必要であることも確認されました。

●留学生別科入試 (4月入学) の応募者と結果

1. 出願者 54人 (中国38、台湾6、韓国2、その他8ヶ国、タイ、ベトナム、ドイツ、デンマーク、モンゴル、ブラジル、オランダ、ロシア各1)

2. 合格者 21人 (中国10、台湾6、韓国2、その他3ヶ国ベトナム、デンマーク、オランダ各1)

留学生別科は、入学試験の願書及び出願書類を、2年前に大学Web上からダウンロードできるようにしたこと、また、近年の日本ブームの影響からか、出願者の多国籍化が徐々に広がってきました。

●中国：河北大学で留学生別科の現地面接を実施しました。

「龍谷大学留学生別科と河北大学国際合作処との留学生受入に関する協定書」に基づき、10月25日 (土) に現地面接を実施しました。河北大学から推薦された3名の学生は、2時間半にわたり、筆記試験や個別面談などの試験を受け、1名が合格になりました。

1. 面接教員 稲垣宏明准教授 (法学部)
2. 面接対象 河北大学推薦の学生3名
3. 面接場所 河北大学国際教育サービスセンター
4. 面接時間 2008年10月25日 (土) 16:00~18:30



●初修外国語スピーチコンテストが開催されます

毎年恒例の初修外国語コンテストを今年も開催致します。

このコンテストは外国語学習に対するモチベーションを高めるため、1999年に「中国語誦読・スピーチコンテスト」として初めて開催しました。2004年度にはドイツ語・スペイン語、2006年度からフランス語が新たに加わっており、優秀者には「龍谷大学賞」「親和会長賞」「国際センター長賞」が贈られています。

これを機会に交換留学を志す学生も現れるなど相乗効果も出ています。

学生たちの発音、表現力を是非見に来て下さい。

◆日時：2008年12月17日（水）13:30～16:30

◆場所

ドイツ語 21号館403教室
フランス語 21号館503教室
中国語 21号館101教室
スペイン語 21号館201教室

外国人の力

主催：龍谷大学フランス語朗読・
後援：龍谷大学親和会



●国際部引越が完了致しました！～紫英館1階（旧保健管理センター）へ～

事務組織改革に伴い、国際部・インターナショナルラウンジ・留学生別科講師控室は、8月4日～12月5日まで2号館地下の仮事務室で業務を行っておりましたが、この度改修工事が完了し、12月8日より紫英館1階（旧保健管理センター）へ引越が完了いたしました。



引越完了！



●日本留学フェア（タイ・バンコク）に参加

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が主催する日本留学フェア（タイ・バンコク）が、11月22日（土）にバンコク市内のインターコンチネンタルホテルバンコクで行われました。

このフェアはタイの学生の日本留学を促進するために毎年開催されているイベントで、各大学の教職員が直接現地へ行き、それぞれの大学の教育プログラム等を説明するもので、今年は1,710名の入場者がありました。

本学ブースには48名の訪問があり、留学生別科（JCLP）や各学部・研究科の教育プログラムについて質問がありました。その内、大学院進学希望者5名程度が英語で修士号（特にMBAなど）が扱われるプログラムを希望しており（日本語がほとんどできない状況）、タイにおいても特に大学院では英語で修士号を修得できるプログラムが必要であると感じました。また、フェアの前日には学生交換協定校であるチュラロンコン大学、アサンブション大学を表敬訪問しました。午前中はアサンブション大学を訪問し、本学卒業生である Mika S. Tanasarnsanee 先生や'07年度本学への交換留学生、'09年度交換留学予定者と面会し、双方の教育プログラムの説明や意見交換を行いました。

午後からはチュラロンコン大学を訪問し、国際関係部 Dusdeporn 部長やアカデミックエクスチェンジアドバイザーの Sukalin さんと1時間程度、双方の大学概要や教育プログラムについての情報交換を行いました。

その後、本学から交換留学・私費留学している3名の学生と面談し、留学生活の状況についての報告を受けました。

チュラロンコン大学ではタイ語による授業が中心なので、最初は非常に苦勞したようで、語学学校で猛特訓し徐々に語学力を高めてきた結果、今では授業内容をある程度理解できるようになったと自信を深めている様子でした。

（国際部久志）



日本留学フェアの本学ブース



チュラロンコン大学へ留学している本学学生と来年本学に派遣されるチュラロンコン大学生



国際センター通信

Vol 7 (発行日 2009.3)

編集・隔月発行
龍谷大学国際センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
電話 075-645-7898 FAX 075-645-2020
<http://intl.ryukoku.ac.jp/>

トピック

●カルガリー大学と学生交換協定並びに国際協力一般協定を新規に締結しました。

カルガリー大学は1966年に設立された州立大学で、カナダでトップ7に入る人気のある大学です。キャンパスは美しい自然に囲まれ、面積はカルガリーのダウンタウン全体より広く、200ヘクタール以上の広大な敷地を保有していることでも有名です。

学生数は約30,000人（うち留学生1,900人）で、教育学部、工学部、芸術学部、教養学部、人文学部、法学部、経営学部、薬学部、看護学部、理学部、社会学部など15学部と60以上の学科を有しており、中でもコミュニケーション学、開発学、スポーツ科学、人類学、政策科学、歴史学などの学科が人気を集めています。

既に、2008年度第4期派遣交換留学生として募集中で、2009年3月に最終選考を実施します。派遣は2009年9月からの予定です。



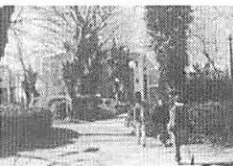
UNIVERSITY OF CALGARY



●リバプール・ジョン・ムアーズ大学と学生交換協定を新規に締結しました。

リバプール・ジョン・ムアーズ大学は、イギリス・イングランド北西部マージーサイド州の中心都市であるリバプール市にあり、1823年に設立された機械学の専門機関を起源とし、3キャンパス6学部学生数20,000人を擁する総合大学です。大学名は、英国でも指折りの起業家であったリバプール市民、サー・ジョン・ムアーズにちなんでつけられました。大学には併設の語学学校はありませんが、交換留学生のためのオリエンテーション（2日間）やコンピューターによる英語レベルチェックテストの実施、English Help classes（英語の補習授業）の開講などサポートプログラムも充実しています。

既に、2008年度第4期派遣交換留学生として募集中で、2009年3月に最終選考を実施します。派遣は2009年9月からの予定です。



●アイダホ大学と学生交換協定を新規に締結しました。

アイダホ大学は1889年に創設された州立大学で、アイダホ州北西部のモスコビー市に本部を置くアイダホ州最古の大学であり、州を代表する大学です。

また、本部キャンパスの他、州北西部の主要都市コー・ダーリン、南西部の州都ボイシ、南部のツインフォールズ、南東部のアイダホフォールズにもキャンパスがあります。

学生数は12,476人（うち留学生645人）で、学部は農業・生命科学、商経学、教育学、工学、法学、文・芸術・社会科学、自然資源学、理学の8学部があります。

アイダホ大学には、学生の英語能力向上させるためのALCP（American Language & Culture Program）プログラムや、学生の興味関心のある家族とマッチングしてフィールドトリップ等を行うFriendship Families、現地学生と1週間につき1～2時間程度会い、お互いの言語で会話をするConversation Partnersなどのサポートプログラムも充実して



います。なお、本協定における派遣交換留学生はすべて国際文化学部生となり、受入交換留学生はすべて Japanese and Asian Studies Program を中心とした国際文化学部特別留学生となります。

本学からの派遣は2010年9月からとなります。また、アイダホ大学からは既に1名の2009年4月からの受入交換留学生が決定しています。



●外国人留学生医療費補助制度終了のお知らせ

日本学生支援機構が実施している外国人留学生医療費補助制度が、2009年3月をもって終了します。

本制度は、外国人留学生(在留資格「留学」を有する者)が日本国内の保険医療機関等で、疾病又は負傷に関する診療を受けて医療費を支払った場合に、独立行政法人日本学生支援機構がその医療費の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施されてきました。平成16年度より在留資格「留学」を有する者全員が、滞在期間にかかわらず国民健康保険の加入が義務づけられたことにより、医療機関における医療費の個人負担は日本人学生と同じ3割負担となっています。このことにより、外国人留学生医療費補助制度は、日本人学生との医療保険制度の格差を是正する役割を終えたと判断され、平成20年度をもって廃止されることとなりました。

●新留学生寮『International House ともいき』が2009年3月末にOPENします！

新留学生寮『International House ともいき』が2009年3月25日にオープンします。『International House ともいき』は、地上5階からなり、総室数28室(うちシングル20室、ツイン8室)、36名の収容が可能です。

共用スペースには、自炊・洗面所、洗濯・物干し室、シャワー室(男・女)、トイレ(男・女)、フリースペースが完備されています。また、各部屋には机、椅子、ベッド、本棚、電気スタンドの基準備品と情報コンセントが設置されています。

ロケーションは御所や寺院、また伝統的な京都の町家が多く残る京都市のほぼ中心に位置しており、地下鉄丸太町駅徒歩5分と京都駅を起点として3キャンパスそれぞれへのアクセスも良く、留学生の住環境としては非常にめぐまれた環境と言えます。既に、3月末からの入居者も決定しており、改修工事が急ピッチで進められているところです。



●アジア人財資金構想【高度実践留學生育成事業】第1期生(平成19年度生)のプログラム終了

アジア人財資金構想の「高度実践留學生育成事業」は、経済産業省が、日本とアジアを結ぶ知識と技術のネットワーク構築を目指して、日本の企業への就職を強く希望する留學生を対象としてスタートさせた事業です。

本学からは14名の留學生がこのプログラムに採用され、途中、4名が進路変更により辞退し、最終的には10名の留學生が、最終プログラムを終了しました。

このプログラムは、自己分析に始まり、エントリーシートの書き方、面接対策、インターンシップ、ビジネス日本語などで構成されており、5名の参加者が研修発表会のプレゼンターとなりました。

10名の學生は、これから本学での学修と、このプログラムを活かし、日本の企業等で活躍することになります。

また、現在、平成20年度生がプログラムを受講中であり、さらに来年度早々に平成21年度生の募集が行われます。

●交換留學生24名、留學生別科生15名が入学予定(2009年4月生)

2009年4月より、学生交協定校を締結している海外の8大学から24名の交換留學生が、留學生別科には5カ国15名の留學生が入学します。

2008年度留学生別科体制

留学生別科長 ブラドリー ウィリアム（国際文化学部教授） 国際センター長を兼ねる
留学生別科開講科目

科目区分	科目名(単位数)	開講	曜講	担当者	所属学部	備考
必修科目	日本語 A (2)	前期				
	日本語 B (2)	後期				
別 表						
選 択 必 修 科 目	日本の宗教 A (2)	前期	月3	香川真二	文学部	非常勤
	日本の宗教 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	月4	下間一頼	〃	〃
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の歴史・文学 A (2)	前期	-	-	-	-
	日本の歴史・文学 B (2)	後期	火4	西野由紀	文学部	非常勤
	日本の社会・文化 A (2)	前期	木4	河野秀壽命	法学部	〃
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	日本の社会・文化 A (2)	前期	金4	新田光子	社会学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	〃	〃	
	日本の社会・文化 A (2)	前期	月4	松居竜五	国際文化学部	
	日本の社会・文化 B (2)	後期	〃	カドネル シルヴァン	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	木3	松島泰勝	経済学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	〃	〃	〃	
	日本の経済・経営 A (2)	前期	火4	由井浩	経営学部	
	日本の経済・経営 B (2)	後期	月3	本田英夫	〃	
	日本の科学技術 A (2)	前期	集中講義	粟井郁雄	理工学部	7/17,18,19
	日本の科学技術 B (2)	後期	集中講義	後藤/林/松下	〃	1/14,15,16
	日本の武道・芸道 A (2)	前期	火4	川上孝也	別科	非常勤
	日本の武道・芸道 B (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A Buddhism (2)	前期	木4	ライト トーマス	経営学部	
	特別講義 1 B Buddhism (2)	後期	水3	ジャフィー ポール	法学部	
	特別講義 1 A 囲碁 (2)	前期	水3	藤山和登	別科	非常勤
	特別講義 1 B 囲碁 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試1-2級対応 (2)	前期	月3	沼口恭慧	別科	〃
	特別講義 1 B 日能試2級対応 (2)	後期	〃	〃	〃	〃
	特別講義 1 A 日能試1級対応 (2)	前期	-	-	-	-
	特別講義 1 B 日能試1級対応 (2)	後期	月3	小野寺節子	別科	非常勤
特別講義 1 A 日能試2-3級対応 (2)	前期	月3	稲垣宏明	法学部		
特別講義 1 B 日能試3級対応 (2)	後期	〃	〃	〃		
特別講義 1 A 日本文化入門 (2)	前期	木3	後藤多恵	別科	非常勤	
特別講義 1 B 日本文化入門 (2)	後期	〃	〃	〃	〃	
特別講義 1 A 日本語基礎 (2)	前期	-	-	-	-	
特別講義 1 B 日本語基礎 (2)	後期	水3	桑山京子	別科	非常勤	

2008年度留学生別科体制（別表）

留学生別科開講科目（日本語関係科目）

科目区分	科目名(単位数)	開講	曜講(担当クラス)	担当者	所属学部	備考	
必修 科目	日本語 関係 科目 目	日本語A (12)	前期	火1-2 (5) 水1-2 (6)	田尻 英三	経済学部	5・6コーディネーター
					稲垣 宏明	法学部	
				火1-2 (3A) 水1-2 (3A) 金3 (読解)	北川 逸子	経営学部	3Aコーディネーター
				木1-2 (話し方・漢字)	朝倉 淳子	非常勤講師	
				木1-2 (話し方・漢字)	李 宝瓊	〃	
				金1-2 (4)	岩 男考哲	〃	
				木1-2 (5) 火3 (聴解)	菓子田 道子	〃	
				水1-2 (2)	川 嶋 恵子	〃	
				月1-2 (3A)	姜 志 鮮	〃	
				火1-2 (6) 火3 (5) 木1-2 (話し方・漢字)	久冨木 幸子	〃	
				木1-2 (5) 木1-2 (6)	久 保 るみ	〃	
				火3 (聴解) 水1-2 (4)	黒田 志保	〃	
				金1-2 (5) 金3 (読解)	篠原 みゆき	〃	
				金1-2 (3B) 金3 (読解)	高岸 雅子	〃	
				火1-2 (3B) 火3 (聴解) 水1-2 (3B)	田川 恭識	〃	3Bコーディネーター
				金3 (6)	塚田 智冬	〃	
				月1-2 (2)	辻野 里枝	〃	
				月1-2 (6)	中井 好男	〃	
				月1-2 (5) 金1-2 (3A)	沼口 恭慧	〃	
				金1-2 (6) 金3 (5)	坂東 正子	〃	
金3 (読解)	福富 奈美	〃					
月1-2 (4) 火1-2 (4) 火3 (聴解)	三登 由利子	〃	4コーディネーター				
火1-2 (2) 火3 (6) 金1-2 (2)	森田 美恵子	〃	2コーディネーター				
月1-2 (3B) 木1-2 (話し方・漢字)	吉田 美美	〃					
必修 科目	日本語 関係 科目 目	日本語B (12)	後期	火1-2 (5) 水1-2 (6)	田尻 英三	経済学部	5・6コーディネーター
					稲垣 宏明	法学部	
				火1-2 (4B) 水1-2 (4B) 金3 (読解)	北川 逸子	経営学部	4Bコーディネーター
				木1-2 (話し方・漢字)	朝倉 淳子	非常勤講師	
				木1-2 (話し方・漢字)	李 宝瓊	〃	
				金1-2 (4A)	岩 男考哲	〃	
				月1-2 (6) 金3 (読解)	小野寺 節子	〃	後期～
				木1-2 (5) 火3 (聴解)	菓子田 道子	〃	
				水1-2 (2)	川 嶋 恵子	〃	
				月1-2 (3A) 木1-2 (話し方・漢字)	姜 志 鮮	〃	
				月1-2 (4B)	木村 典子	〃	後期～
				火1-2 (6) 火3 (5) 木1-2 (話し方・漢字)	久冨木 幸子	〃	
				木1-2 (5) 木1-2 (6)	久 保 るみ	〃	
				火3 (聴解) 水1-2 (4A)	黒田 志保	〃	
				金1-2 (5) 金3 (読解)	篠原 みゆき	〃	
				金1-2 (3A) 金3 (読解)	高岸 雅子	〃	
				火1-2 (3A) 火3 (聴解) 水1-2 (3A)	田川 恭識	〃	3Aコーディネーター
				金3 (6)	塚田 智冬	〃	
				金1-2 (2)	辻野 里枝	〃	
				月1-2 (3B) 火1-2 (2) 火3 (聴解)	中井 好男	〃	
月1-2 (5) 金1-2 (4B)	沼口 恭慧	〃					
金1-2 (6) 金3 (5)	坂東 正子	〃					
金3 (読解)	福富 奈美	〃					
月1-2 (4A) 火1-2 (4A) 火3 (聴解)	三登 由利子	〃	4Aコーディネーター				
火1-2 (3B) 火3 (6) 金1-2 (3B)	森田 美恵子	〃	3Bコーディネーター				
月1-2 (2) 木1-2 (話し方・漢字)	吉田 美美	〃	2コーディネーター				

2008年度留学生別科時間割表【前期】

	1			2			3			4			
	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	
月	日本語 A (2クラス)	辻野	4-509	日本語 A (2クラス)	辻野	4-509	日本の宗教 A	香川	4-507	日本の歴史・文学 A	しもづま 下間 まつい 松居	4-509 21-404 21-401	
	日本語 A (3Aクラス)	姜	4-507	日本語 A (3Aクラス)	姜	4-507	特別講義 1 A (日本語能力試験12級対応)	沼口	21-404	日本の社会・文化 A			
	日本語 A (3Bクラス)	吉田	4-420	日本語 A (3Bクラス)	吉田	4-420	特別講義 1 A (日本語能力試験23級対応)	稲垣	21-401				
	日本語 A (4クラス)	三登	5-302	日本語 A (4クラス)	三登	5-302							
	日本語 A (5クラス)	沼口	5-301	日本語 A (5クラス)	沼口	5-301							
	日本語 A (6クラス)	中井	5-401	日本語 A (6クラス)	中井	5-405							
火	日本語 A (2クラス)	森田	4-508	日本語 A (2クラス)	森田	4-508	日本語 A (聴解2)	黒田	4-307	日本の経済・経営 A	ゆい 由井 かわかみ 川上	4-405 2-503	
	日本語 A (3Aクラス)	北川	4-312	日本語 A (3Aクラス)	北川	4-312	日本語 A (聴解3A)	菓子田	2-410	日本の武道・芸道 A			
	日本語 A (3Bクラス)	田川	5-502	日本語 A (3Bクラス)	田川	5-502	日本語 A (聴解3B)	田川	2-509				
	日本語 A (4クラス)	三登	21-407	日本語 A (4クラス)	三登	21-407	日本語 A (聴解4)	三登	21-407				
	日本語 A (5クラス)	田尻	21-408	日本語 A (5クラス)	田尻	21-408	日本語 A (5クラス)	久富木	2-507				
	日本語 A (6クラス)	久富木	4-507	日本語 A (6クラス)	久富木	4-507	日本語 A (6クラス)	森田	2-311				
水	日本語 A (2クラス)	川嶋	4-508	日本語 A (2クラス)	川嶋	4-508	特別講義 1 A (囲碁)	藤山	4-505				
	日本語 A (3Aクラス)	北川	4-306	日本語 A (3Aクラス)	北川	4-306							
	日本語 A (3Bクラス)	田川	4-505	日本語 A (3Bクラス)	田川	4-505							
	日本語 A (4クラス)	黒田	2-411	日本語 A (4クラス)	黒田	2-411							
	日本語 A (5クラス)	久保	2-203	日本語 A (5クラス)	久保	2-203							
	日本語 A (6クラス)	田尻	21-508	日本語 A (6クラス)	田尻	21-508							
木	日本語 A (話し方2)	李	4-510	日本語 A (漢字2)	李	4-510	日本の経済・経営 A	松島	2-310	日本の社会・文化 A	かわの 河野	4-509 2-509	
	日本語 A (話し方3A)	朝倉	21-403	日本語 A (漢字3A)	朝倉	21-403	特別講義 1 A (日本文化入門)	後藤	2-508	特別講義 1 A (Buddhism)			ライト
	日本語 A (話し方3B)	吉田	21-503	日本語 A (漢字3B)	吉田	21-503							
	日本語 A (テイクアウト)	久富木	2-507	日本語 A (漢字4)	久富木	2-507							
	日本語 A (5クラス)	菓子田	2-304	日本語 A (5クラス)	菓子田	2-304							
	日本語 A (6クラス)	久保	2-508	日本語 A (6クラス)	久保	2-508							
金	日本語 A (2クラス)	森田	4-507	日本語 A (2クラス)	森田	4-507	日本語 A (読解入門)	しのはら 篠原	4-506	日本の社会・文化 A	じゅた 新田	4-506	
	日本語 A (3Aクラス)	沼口	4-312	日本語 A (3Aクラス)	沼口	4-312	日本語 A (精読3A)	高岸	4-301				
	日本語 A (3Bクラス)	高岸	4-505	日本語 A (3Bクラス)	高岸	4-505	日本語 A (精読3B)	福富	2-303				
	日本語 A (4クラス)	岩男	2-408	日本語 A (4クラス)	岩男	2-408	日本語 A (多読)	北川	2-404				
	日本語 A (5クラス)	篠原	5-403	日本語 A (5クラス)	篠原	5-403	日本語 A (5クラス)	ばんどう 坂東	2-305				
	日本語 A (6クラス)	坂東	4-417	日本語 A (6クラス)	坂東	4-417	日本語 A (6クラス)	塚田	5-301				

2008年度留学生別科時間割表【後期】

	1			2			3			4		
	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室	授業科目	担当者	教室
月	日本語 B (2クラス)	吉田	4-509	日本語 B (2クラス)	吉田	4-509	日本の宗教 B	香川	4-507	日本の歴史・文学 B	下間	4-509
	日本語 B (3Aクラス)	姜	4-507	日本語 B (3Aクラス)	姜	4-507	日本の経済・経営 B	本田	4-405	日本の社会・文化 B	カルトネル	21-303
	日本語 B (3Bクラス)	中井	4-420	日本語 B (3Bクラス)	中井	4-420	特別講義 1 B (日本語能力試験1級対応)	小野寺	21-408			
	日本語 B (4Aクラス)	三登	5-302	日本語 B (4Aクラス)	三登	5-302	特別講義 1 B (日本語能力試験2級対応)	沼口	21-404			
	日本語 B (4Bクラス)	木村	4-510	日本語 B (4Bクラス)	木村	4-510	特別講義 1 B (日本語能力試験3級対応)	稲垣	21-401			
	日本語 B (5クラス)	沼口	5-301	日本語 B (5クラス)	沼口	5-301						
日本語 B (6クラス)	小野寺	5-504	日本語 B (6クラス)	小野寺	5-504							
火	日本語 B (2クラス)	中井	4-508	日本語 B (2クラス)	中井	4-508	日本語 B (聴解1)	黒田	4-307	日本の武道・芸道 B	川上	2-503
	日本語 B (3Aクラス)	田川	4-312	日本語 B (3Aクラス)	田川	4-312	日本語 B (聴解2)	中井	2-410	日本の歴史・文学 B	西野	4-305
	日本語 B (3Bクラス)	森田	5-502	日本語 B (3Bクラス)	森田	5-502	日本語 B (聴解3)	菓子田	2-509			
	日本語 B (4Aクラス)	三登	21-407	日本語 B (4Aクラス)	三登	21-407	日本語 B (聴解4)	田川	4-510			
	日本語 B (4Bクラス)	北川	5-401	日本語 B (4Bクラス)	北川	5-401	日本語 B (聴解5)	三登	21-407			
	日本語 B (5クラス)	田尻	21-408	日本語 B (5クラス)	田尻	21-408	日本語 B (5クラス)	久富木	2-507			
日本語 B (6クラス)	久富木	4-507	日本語 B (6クラス)	久富木	4-507	日本語 B (6クラス)	森田	2-311				
水	日本語 B (2クラス)	川嶋	4-509	日本語 B (2クラス)	川嶋	4-509	特別講義 1 B (囲碁)	藤山	4-505	特別講義 1 B (日本語基礎)	桑山	2-404
	日本語 B (3Aクラス)	田川	4-306	日本語 B (3Aクラス)	田川	4-306	特別講義 1 B (Buddhism)	ジャフィー	2-507			
	日本語 B (3Bクラス)	木村	4-505	日本語 B (3Bクラス)	木村	4-505						
	日本語 B (4Aクラス)	黒田	2-411	日本語 B (4Aクラス)	黒田	2-411						
	日本語 B (4Bクラス)	北川	4-507	日本語 B (4Bクラス)	北川	4-507						
	日本語 B (5クラス)	久保	2-203	日本語 B (5クラス)	久保	2-203						
日本語 B (6クラス)	田尻	21-508	日本語 B (6クラス)	田尻	21-508							
木	日本語 B (話し方1)	吉田	4-510	日本語 B (漢字1)	吉田	4-510	日本の経済・経営 B	松島	2-310	日本の社会・文化 B	河野	4-509
	日本語 B (話し方2)	李	21-403	日本語 B (漢字2)	李	21-403	特別講義 1 B (日本文化入門)	後藤	2-508			
	日本語 B (話し方3)	姜	21-503	日本語 B (漢字3)	姜	21-503						
	日本語 B (話し方4)	久富木	2-507	日本語 B (漢字4)	久富木	2-507						
	日本語 B (話し方5)	朝倉	4-509	日本語 B (漢字5)	朝倉	4-509						
	日本語 B (5クラス)	菓子田	2-304	日本語 B (5クラス)	菓子田	2-304						
日本語 B (6クラス)	久保	5-403	日本語 B (6クラス)	久保	5-403							
金	日本語 B (2クラス)	辻野	4-507	日本語 B (2クラス)	辻野	4-507	日本語 B (読解1)	篠原	4-506	日本の社会・文化 B	新田	4-506
	日本語 B (3Aクラス)	高岸	4-312	日本語 B (3Aクラス)	高岸	4-312	日本語 B (読解2)	福富	4-301			
	日本語 B (3Bクラス)	森田	5-502	日本語 B (3Bクラス)	森田	5-502	日本語 B (読解3)	高岸	2-303			
	日本語 B (4Aクラス)	岩男	2-408	日本語 B (4Aクラス)	岩男	2-408	日本語 B (読解4)	北川	2-404			
	日本語 B (4Bクラス)	沼口	4-510	日本語 B (4Bクラス)	沼口	4-510	日本語 B (読解5)	小野寺	4-510			
	日本語 B (5クラス)	篠原	5-403	日本語 B (5クラス)	篠原	5-403	日本語 B (5クラス)	坂東	2-305			
日本語 B (6クラス)	坂東	4-417	日本語 B (6クラス)	坂東	4-417	日本語 B (6クラス)	塚田	5-301				

日本の科学技術 B 後藤義昭／林 久夫／松下隆之 集中講義 (1/14・15・16 21-405)

2008年度留学生別科授業・講義 受講状況

日本語関係科目（前期：日本語A）

- 2 クラス 11名〈別科生：3名 交換生：8名〉 コーディネーター：森田美恵子
 担当者名：辻野 里枝（月1・2）・森田美恵子（火1・2）・川嶋 恵子（水1・2）・森田美恵子（金1・2）
- 3 Aクラス 13名〈別科生：7名 交換生：6名〉 コーディネーター：北川 逸子
 担当者名：姜 志鮮（月1・2）・北川 逸子（火1・2）・北川 逸子（水1・2）・沼口 恭慧（金1・2）
- 3 Bクラス 12名〈別科生：4名 交換生：8名〉 コーディネーター：田川 恭識
 担当者名：吉田 美美（月1・2）・田川 恭識（火1・2）・田川 恭識（水1・2）・高岸 雅子（金1・2）
- 4 クラス 14名〈別科生：6名 交換生：8名〉 コーディネーター：三登由利子
 担当者名：三登由利子（月1・2）・三登由利子（火1・2）・黒田 志保（水1・2）・岩男 考哲（金1・2）

日本語選択必修クラス コーディネーター：北川 逸子

- 火曜日3 講時 48名〈別科生：20名 交換生：28名〉
- | | | |
|--------|--------------------|------------|
| 聴解 2 | 11名〈別科生：3名 交換生：8名〉 | 担当者名：黒田 志保 |
| 聴解 3 A | 14名〈別科生：8名 交換生：6名〉 | 担当者名：菓子田道子 |
| 聴解 3 B | 12名〈別科生：4名 交換生：8名〉 | 担当者名：田川 恭識 |
| 聴解 4 | 11名〈別科生：5名 交換生：6名〉 | 担当者名：三登由利子 |

- 木曜日1 講時 46名〈別科生：20名 交換生：26名〉
- | | | |
|---------|--------------------|------------|
| 話し方 2 | 11名〈別科生：3名 交換生：8名〉 | 担当者名：李 宝瓊 |
| 話し方 3 A | 13名〈別科生：7名 交換生：6名〉 | 担当者名：朝倉 淳子 |
| 話し方 3 B | 12名〈別科生：4名 交換生：8名〉 | 担当者名：吉田 美美 |
| ディベート | 10名〈別科生：6名 交換生：4名〉 | 担当者名：久富木幸子 |

- 木曜日2 講時 46名〈別科生：20名 交換生：26名〉
- | | | |
|--------|--------------------|------------|
| 漢字 2 | 12名〈別科生：3名 交換生：9名〉 | 担当者名：李 宝瓊 |
| 漢字 3 A | 9名〈別科生：7名 交換生：2名〉 | 担当者名：朝倉 淳子 |
| 漢字 3 B | 10名〈別科生：1名 交換生：9名〉 | 担当者名：吉田 美美 |
| 漢字 4 | 15名〈別科生：9名 交換生：6名〉 | 担当者名：久富木幸子 |

- 金曜日3 講時 47名〈別科生：20名 交換生：27名〉
- | | | |
|--------|--------------------|------------|
| 読解入門 | 11名〈別科生：3名 交換生：8名〉 | 担当者名：篠原みゆき |
| 精説 3 A | 13名〈別科生：7名 交換生：6名〉 | 担当者名：高岸 雅子 |
| 精説 3 B | 11名〈別科生：3名 交換生：8名〉 | 担当者名：福富 奈美 |
| 多読 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：北川 逸子 |

5 クラス コーディネーター：田尻 英三

- | | | |
|---------|--------------------|------------|
| 月曜日1 講時 | 9名〈別科生：7名 交換生：2名〉 | 担当者名：沼口 恭慧 |
| 月曜日2 講時 | 9名〈別科生：7名 交換生：2名〉 | 担当者名：沼口 恭慧 |
| 火曜日1 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：田尻 英三 |
| 火曜日2 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：田尻 英三 |
| 火曜日3 講時 | 9名〈別科生：7名 交換生：2名〉 | 担当者名：久富木幸子 |
| 水曜日1 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：久保 るみ |
| 水曜日2 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：久保 るみ |
| 木曜日1 講時 | 8名〈別科生：7名 交換生：1名〉 | 担当者名：菓子田道子 |
| 木曜日2 講時 | 8名〈別科生：7名 交換生：1名〉 | 担当者名：菓子田道子 |
| 金曜日1 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：篠原みゆき |
| 金曜日2 講時 | 12名〈別科生：7名 交換生：5名〉 | 担当者名：篠原みゆき |
| 金曜日3 講時 | 7名〈別科生：7名 交換生：0名〉 | 担当者名：坂東 正子 |

6 クラス コーディネーター：田尻 英三

- | | | |
|---------|-------------------|------------|
| 月曜日1 講時 | 6名〈別科生：5名 交換生：1名〉 | 担当者名：中井 好男 |
|---------|-------------------|------------|

月曜日 2 講時	6 名	〈別科生：5 名 交換生：1 名〉	担当者名：中井 好男
火曜日 1 講時	7 名	〈別科生：5 名 交換生：2 名〉	担当者名：久富木幸子
火曜日 2 講時	7 名	〈別科生：5 名 交換生：2 名〉	担当者名：久富木幸子
火曜日 3 講時	7 名	〈別科生：5 名 交換生：2 名〉	担当者名：森田美恵子
水曜日 1 講時	10 名	〈別科生：5 名 交換生：5 名〉	担当者名：田尻 英三
水曜日 2 講時	10 名	〈別科生：5 名 交換生：5 名〉	担当者名：田尻 英三
木曜日 1 講時	7 名	〈別科生：5 名 交換生：2 名〉	担当者名：久保 るみ
木曜日 2 講時	7 名	〈別科生：5 名 交換生：2 名〉	担当者名：久保 るみ
金曜日 1 講時	6 名	〈別科生：5 名 交換生：1 名〉	担当者名：坂東 正子
金曜日 2 講時	6 名	〈別科生：5 名 交換生：1 名〉	担当者名：坂東 正子
金曜日 3 講時	5 名	〈別科生：5 名 交換生：0 名〉	担当者名：塚田 智冬

日本語関係科目（後期：日本語 B）

2 クラス 13 名〈別科生：9 名 交換生：4 名〉 コーディネーター：吉田 美美
担当者名：吉田 美美（月 1・2）・中井 好男（火 1・2）・川嶋 恵子（水 1・2）・辻野 里枝（金 1・2）

3 A クラス 10 名〈別科生：4 名 交換生：6 名〉 コーディネーター：田川 恭識
担当者名：姜 志鮮（月 1・2）・田川 恭識（火 1・2）・田川 恭識（水 1・2）・高岸 雅子（金 1・2）

3 B クラス 11 名〈別科生：5 名 交換生：6 名〉 コーディネーター：森田美恵子
担当者名：中井 好男（月 1・2）・森田美恵子（火 1・2）・木村 典子（水 1・2）・森田美恵子（金 1・2）

4 A クラス 10 名〈別科生：1 名 交換生：9 名〉 コーディネーター：三登由利子
担当者名：三登由利子（月 1・2）・三登由利子（火 1・2）・黒田 志保（水 1・2）・岩男 考哲（金 1・2）

4 B クラス 10 名〈別科生：9 名 交換生：1 名〉 コーディネーター：北川 逸子
担当者名：木村 典子（月 1・2）・北川 逸子（火 1・2）・北川 逸子（水 1・2）・沼口 恭慧（金 1・2）

日本語選択必修クラス コーディネーター：北川 逸子

火曜日 3 講時	53 名	〈別科生：28 名 交換生：25 名〉	
聴解 1	12 名	〈別科生：9 名 交換生：3 名〉	担当者名：黒田 志保
聴解 2	11 名	〈別科生：4 名 交換生：7 名〉	担当者名：中井 好男
聴解 3	11 名	〈別科生：5 名 交換生：6 名〉	担当者名：菓子田道子
聴解 4	8 名	〈別科生：3 名 交換生：5 名〉	担当者名：田川 恭識
聴解 5	11 名	〈別科生：7 名 交換生：4 名〉	担当者名：三登由利子

木曜日 1 講時	50 名	〈別科生：28 名 交換生：22 名〉	
話し方 1	13 名	〈別科生：9 名 交換生：4 名〉	担当者名：吉田 美美
話し方 2	10 名	〈別科生：4 名 交換生：6 名〉	担当者名：李 宝瓊
話し方 3	12 名	〈別科生：5 名 交換生：7 名〉	担当者名：姜 志鮮
話し方 4	6 名	〈別科生：1 名 交換生：5 名〉	担当者名：久富木幸子
話し方 5	9 名	〈別科生：9 名 交換生：0 名〉	担当者名：朝倉 淳子

木曜日 2 講時	52 名	〈別科生：28 名 交換生：24 名〉	
漢字 1	7 名	〈別科生：4 名 交換生：3 名〉	担当者名：吉田 美美
漢字 2	14 名	〈別科生：9 名 交換生：5 名〉	担当者名：李 宝瓊
漢字 3	10 名	〈別科生：4 名 交換生：6 名〉	担当者名：姜 志鮮
漢字 4	11 名	〈別科生：2 名 交換生：9 名〉	担当者名：久富木幸子
漢字 5	10 名	〈別科生：9 名 交換生：1 名〉	担当者名：朝倉 淳子

金曜日 3 講時	49 名	〈別科生：28 名 交換生：21 名〉	
読解 1	13 名	〈別科生：9 名 交換生：4 名〉	担当者名：篠原みゆき
読解 2	10 名	〈別科生：4 名 交換生：6 名〉	担当者名：福富 奈美
読解 3	11 名	〈別科生：5 名 交換生：6 名〉	担当者名：高岸 雅子
読解 4	8 名	〈別科生：3 名 交換生：5 名〉	担当者名：北川 逸子
読解 5	7 名	〈別科生：7 名 交換生：0 名〉	担当者名：小野寺節子

5クラス コーディネーター：田尻 英三

月曜日 1 講時	14名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：沼口 恭慧
月曜日 2 講時	14名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：沼口 恭慧
火曜日 1 講時	18名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：田尻 英三
火曜日 2 講時	18名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：田尻 英三
火曜日 3 講時	13名〈別科生：9名 交換生：4名〉	担当者名：久富木幸子
水曜日 1 講時	15名〈別科生：9名 交換生：6名〉	担当者名：久保 るみ
水曜日 2 講時	15名〈別科生：9名 交換生：6名〉	担当者名：久保 るみ
木曜日 1 講時	14名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：菓子田道子
木曜日 2 講時	13名〈別科生：9名 交換生：4名〉	担当者名：菓子田道子
金曜日 1 講時	15名〈別科生：9名 交換生：6名〉	担当者名：篠原みゆき
金曜日 2 講時	15名〈別科生：9名 交換生：6名〉	担当者名：篠原みゆき
金曜日 3 講時	14名〈別科生：9名 交換生：5名〉	担当者名：坂東 正子

6クラス コーディネーター：田尻 英三

月曜日 1 講時	8名〈別科生：8名 交換生：0名〉	担当者名：小野寺節子
月曜日 2 講時	8名〈別科生：8名 交換生：0名〉	担当者名：小野寺節子
火曜日 1 講時	13名〈別科生：8名 交換生：5名〉	担当者名：久富木幸子
火曜日 2 講時	13名〈別科生：8名 交換生：5名〉	担当者名：久富木幸子
火曜日 3 講時	11名〈別科生：8名 交換生：3名〉	担当者名：森田美恵子
水曜日 1 講時	11名〈別科生：8名 交換生：3名〉	担当者名：田尻 英三
水曜日 2 講時	11名〈別科生：8名 交換生：3名〉	担当者名：田尻 英三
木曜日 1 講時	11名〈別科生：8名 交換生：3名〉	担当者名：久保 るみ
木曜日 2 講時	11名〈別科生：8名 交換生：3名〉	担当者名：久保 るみ
金曜日 1 講時	10名〈別科生：8名 交換生：2名〉	担当者名：坂東 正子
金曜日 2 講時	10名〈別科生：8名 交換生：2名〉	担当者名：坂東 正子
金曜日 3 講時	8名〈別科生：8名 交換生：0名〉	担当者名：塚田 智冬

日本事情関係科目（前期）

日本の宗教A 担当者名：香川 真二（月3）

サブテーマ：日本の文化と宗教
受講者数：1名〈別科生：0名 交換生：1名〉

日本の歴史・文学A 担当者名：下間 一頼（月4）

サブテーマ：日本文化の歴史
受講者数：16名〈別科生：4名 交換生：12名〉

日本の社会・文化A 担当者名：河野秀壽命（木4）

サブテーマ：第二次大戦後の日本政治史
受講者数：27名〈別科生：8名 交換生：19名〉

日本の社会・文化A 担当者名：新田 光子（金4）

サブテーマ：日本の大学で学ぶ
受講者数：8名〈別科生：2名 交換生：6名〉

日本の社会・文化A 担当者名：松居 竜五（木4）

サブテーマ：マンガと日本文化
受講者数：4名〈別科生：2名 交換生：2名〉

日本の経済・経営A 担当者名：松島 泰勝（木3）

サブテーマ：沖縄の経済を学ぶ
受講者数：9名〈別科生：3名 交換生：6名〉

日本の経済・経営A 担当者名：由井 浩（火4）

サブテーマ：

受講者数：18名〈別科生：7名 交換生：11名〉

日本の科学技術 A 担当者名：粟井 郁雄（集中講義：7/17～19）

サブテーマ：

受講者数：4名〈別科生：3名 交換生：1名〉

日本の武道・芸道 A 担当者名：川上 孝也（火 4）

サブテーマ：武道・芸道のなりたち

受講者数：4名〈別科生：4名 交換生：0名〉

特別講義 1 A 担当者名：Tom Wright（木 4）

サブテーマ：Zen Buddhism-Bodhidharma to Uchiyama

受講者数：5名〈別科生：0名 交換生：5名〉

特別講義 1 A 担当者名：藤山 和登（水 3）

サブテーマ：日本の伝統ゲーム（囲碁）

受講者数：11名〈別科生：7名 交換生：4名〉

特別講義 1 A 担当者名：沼口 恭慧（月 3）

サブテーマ：日本語能力試験 1・2 級対応

受講者数：19名〈別科生：8名 交換生：11名〉

特別講義 1 A 担当者名：稲垣 宏明（月 3）

サブテーマ：日本語能力試験 2・3 級対応

受講者数：22名〈別科生：10名 交換生：12名〉

特別講義 1 A 担当者名：後藤 多恵（木 3）

サブテーマ：日本文化入門

受講者数：16名〈別科生：9名 交換生：7名〉

日本事情関係科目（後期）

日本の宗教 B 担当者名：香川 真二（月 3）

サブテーマ：日本の歴史と宗教

受講者数：2名〈別科生：0名 交換生：2名〉

日本の歴史・文学 B 担当者名：下間 一頼（月 4）

サブテーマ：日本文化の歴史

受講者数：7名〈別科生：1名 交換生：6名〉

日本の歴史・文学 B 担当者名：西野 由紀（火 4）

サブテーマ：京都の歴史と文学

受講者数：4名〈別科生：1名 交換生：3名〉

日本の社会・文化 B 担当者名：河野秀壽命（木 4）

サブテーマ：経済発展と社会変容

受講者数：26名〈別科生：12名 交換生：14名〉

日本の社会・文化 B 担当者名：新田 光子（金 4）

サブテーマ：日本の生活文化と伝統

受講者数：7名〈別科生：4名 交換生：3名〉

日本の社会・文化 B 担当者名：カルドネル シルヴァン（月 4）

サブテーマ：日本人論でみる日本の社会と文化

受講者数：7名〈別科生：5名 交換生：2名〉

日本の経済・経営 B 担当者名：松島 泰勝 (木 3)

サブテーマ：沖縄の経済を学ぶ

受講者数：16名〈別科生：7名 交換生：9名〉

日本の経済・経営 B 担当者名：本田 英夫 (月 3)

サブテーマ：企業ってなんだろう？

受講者数：10名〈別科生：6名 交換生：4名〉

日本の科学技術 B 担当者名：物質化学科 (集中講義 1/14~16)

1/14 担当：林 久夫 1/15 担当：後藤 義昭 1/16 担当：松下 隆之

サブテーマ：現場で見る日本の先端科学技術

受講者数：10名〈別科生：4名 交換生：6名〉

日本の武道・芸道 B 担当者名：川上 孝也 (火 4)

サブテーマ：演じることから見えるもの

受講者数：8名〈別科生：3名 交換生：5名〉

特別講義 1 B 担当者名：Paul Jaffe (水 3)

サブテーマ：Survey of Buddhism

受講者数：8名〈別科生：3名 交換生：5名〉

特別講義 1 B 担当者名：藤山 和登 (水 3)

サブテーマ：日本の伝統ゲーム (囲碁)

受講者数：20名〈別科生：16名 交換生：4名〉

特別講義 1 B 担当者名：小野寺節子 (月 3)

サブテーマ：日本語能力試験 1 級対応

受講者数：10名〈別科生：5名 交換生：5名〉

特別講義 1 B 担当者名：沼口 恭慧 (月 3)

サブテーマ：日本語能力試験 2 級対応

受講者数：18名〈別科生：10名 交換生：8名〉

特別講義 1 B 担当者名：稲垣 宏明 (月 3)

サブテーマ：日本語能力試験 3 級対応

受講者数：15名〈別科生：10名 交換生：5名〉

特別講義 1 B 担当者名：後藤 多恵 (木 3)

サブテーマ：日本文化入門

受講者数：26名〈別科生：13名 交換生：13名〉

特別講義 1 B 担当者名：桑山 京子 (水 4)

サブテーマ：日本語基礎

受講者数：1名〈別科生：1名 交換生：0名〉

交換留学生数推移（受入・派遣） 大学別

単位（人）

		アジア										北米					オセアニア			ヨーロッパ							合計 （追加派遣交換留学生を含む）							
		上海教育国際交流協会	復旦大学	上海師範大学	中国人民大学	大連外国語大学	同濟大学	大連工業大学	東国大学	東亜大学	チュロンコン大学	アサンブション大学	クワンソウ大学	アンティオク大学	南ミズーリ州立大学	聖メアリー州立大学（追加派遣）	米国仏教大学院	カリフォルニア大学リベラ校	東テネシー州立大学	RMIT大学	マドック大学	フリンダース大学	キエフ大学	リヨン第3大学	デュラング・エッセン大学	ウエストミンスター大学		ニールス・ボロニオン大学	ヨエンスウ大学	ペクシヨール大学（追加派遣）	オーフス大学	バレンシア大学	バルセロナ自治大学	
1989年	受入	5																																5
	派遣	3																																3
1990年	受入	5																																5
	派遣	3																																3
1991年	受入	5																																5
	派遣	3																																3
1992年	受入	3																1			2													6
	派遣	3									1						1			3														8
1993年	受入	3																3	3		2													14
	派遣	3																3	3		3													15
1994年	受入	3																	3	3		2												15
	派遣	3																	3	2		2												13
1995年	受入	3																	3	3														13
	派遣	3																	3	3		1												14
1996年	受入	3																	3	3														15
	派遣	3																	3	3		1				2								16
1997年	受入	3																	3	1	1	2												16
	派遣	3																	3	3						2								16
1998年	受入	3																	3	3		1	2	1	1	2								21
	派遣	3																	3	3	1	1	2		2	2								21
1999年	受入	3																	3	3	1	2	2	3	2	1		1						24
	派遣	3																	3	3	2	1	2	3	2	2		2						28
2000年	受入	3																	2	3	1	1	2	3	3	1		2						26
	派遣	3																	3	3	1	1	2	3	3	2		2						27
2001年	受入	3																	2	2	1	2	2	2	2									21
	派遣	3																	3	3	1		1	2	3	2		2	2					28
2002年	受入	3			3	2													1	1	2	1	2	2	1	1								24
	派遣	3																	3	3	2		2	3	3	2		2	2					42
2003年	受入	3			3	3													5	1		1	2	3	3	2		1	1					35
	派遣	3			2	2													3	3	1		2		3	2		2	2					42
2004年	受入	3			3	3													1	1	1	1	2	3	3	3	3	1	4					38
	派遣	3			4	3														2	1	1		1	1	3	2		2	1				35
2005年	受入	2			3	3													1	3		3	2	3	6		6	3						42
	派遣	3			3	1													2	3			4	3	1	2	3	2	1					37
2006年	受入		1	2	3	3													2	2		1	2	3	7	2		2	1					49
	派遣		1	2	3	4													1	2		1	4	2	3	3	1	1	3	2	2			48
2007年	受入				2	3	3	1	2	3	3	2	2	4	3	1			3	3		1	2	2	10	1		3	3		3	2	3	65
	派遣				1	2	3	5	1		3	2	2	2	5	2	1	1			1	1	1	2	1	3	1		2	2			3	48
2008年	受入				1	2	3	3	1	4	6	2	1	2	3	2	4			3	4		1	2	3	4			4	1		3	3	62
	派遣				2	2	3	1		3	2	2		2						2			1	1	1	1		4	3		1	1	1	41
合計	受入	56	2	6	21	20	2	6	50	7	19	6	14	3	12	0	3	0	0	42	39	7	25	22	28	42	13	3	20	14	0	8	2	9501
	派遣	51	2	6	17	18	2	0	45	6	16	2	16	5	10	23	6	10	1	39	41	11	18	17	21	29	22	2	20	18	4	3	1	6488
総合計		107	4	12	38	38	4	6	95	13	35	8	30	8	22	23	9	10	1	81	80	18	43	39	49	71	35	5	40	32	4	11	3	15989

留学生数推移（受入） 在籍区分別

単位（人）

	学部	大学院			短期 大学	留学生 別科	特別留学生※						外国人特別生		特 別 専攻生	研 究 生	合 計
		M	D	L S			受入交換留学生			受入交換留学生以外			M	D			
							学部	M	D	学部	M	D					
1977		1	1				2										4
1978		1	1				1										3
1979		1	1				3										5
1980		1	2				3										6
1981			1	1													2
1982			1	1													2
1983																	-
1984		3	1	1													5
1985		7	3	2			11	3									26
1986		17	11	1			7	2									38
1987		19	18	2			24	1									64
1988	前期	27	17	4			38	13									99
	後期	27	17	4			43	23									114
1989	前期	37	17	5			49	16	1								125
	後期	40	17	5			46	21	1								130
1990	前期	48	15	8			39	23	2								135
	後期	57	14	8			42	23	2								146
1991	前期	77	28	7		1	35	17	2								167
	後期	83	27	7		1	47	24	2	1							192
1992	前期	98	27	8		1	39	13		1							187
	後期	108	26	8		1	44	25		1							213
1993	前期	116	24	15		2	39	28	1	2							227
	後期	122	23	15		2	45	31	1	2							241
1994	前期	128	24	16		1	40	26	5							1	241
	後期	132	24	18		1	51	26	5							1	258
1995	前期	129	30	20		1	45	22	2							2	251
	後期	122	31	20		1	45	21	3							2	245
1996	前期	131	37	17			33	14	7							6	245
	後期	139	39	17			42	15	7							7	266
1997	前期	145	35	19		1	45	17	6							4	272
	後期	150	38	18			49	24	7							4	290
1998	前期	170	31	16			32	20	3							6	278
	後期	174	30	17			45	21	3							6	296
1999	前期	176	38	22			49	18	3							4	310
	後期	175	36	22			61	25	5							4	328
2000	前期	170	41	20			46	28	5	2						3	315
	後期	171	40	19			59	30	6	2						3	330
2001	前期	235	42	18			55	23	4	2						4	383
	後期	231	43	19		2	59	22	4	2						4	386
2002	前期	266	41	18		2	45	17	3		6	1		1			400
	後期	274	40	18		2	53	15	4	1	6	2		1			416
2003	前期	317	39	18		1	48	20	3		3	2	3		3	4	461
	後期	324	36	19		1	41	23	5		4	2	3	1	2	4	465
2004	前期	356	42	23		2	34	18	7	3	2	1			2	3	493
	後期	352	41	21		2	41	25	11	2	1				2	3	501
2005	前期	352	43	21		3	29	32	12		5				1	4	502
	後期	354	45	20		3	35	26	12		7					4	506
2006	前期	354	40	19	1	4	33	33	6		7					6	503
	後期	349	46	19	1	4	36	38	6		10	1			2	7	519
2007	前期	337	42	15	1	2	24	46	8		8	3	2			10	498
	後期	332	46	14	1	2	33	45	6		4			1	3	10	497
2008	前期	324	46	16	1	1	32	53	5		7				3	6	494
	後期	313	51	18	1	1	44	49	5		6			2	2	3	501

※1977年度～2001年度までは、特別留学生、外国人特別生、特別専攻生も含んだ合計数です。

留学生数推移（受入） 所属別①

単位（人）

	1985	1986	1987	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
正 文 学 部	1	3	4	3	2	3	3	3	3	3	3	10	10	14	13
M 文学研究科	3	8	11	8	8	8	8	7	7	15	15	12	12	9	8
D 文学研究科	1			1	1	2	2	6	6	4	4	6	6	11	11
特 文 学 部	3	2	1	2	3	1	1	4	4	7	6	3	3	6	7
特 文学研究科						1	1	2	2		1	1	1	1	1
D 研 究 生															
計	8	13	16	14	14	15	15	22	22	29	29	32	32	41	40
正 經 済 学 部		3	6	11	12	15	17	20	26	36	44	45	53	56	61
M 経済学研究科						1	1	2	2	6	5	8	7	5	5
D 経済学研究科	1	1	1	1	1									1	1
特 經 済 学 部				3	4	7	9	8	5	1	4	3	6	6	6
特 経済学研究科															
D 研 究 生															
計	1	4	7	15	17	23	27	30	33	43	53	56	66	68	73
正 經 営 学 部	6	10	8	10	10	16	16	19	19	25	22	26	25	20	18
M 経営学研究科		3	7	9	9	7	7	6	5	6	6	6	6	6	6
D 経営学研究科			1	2	2	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3
特 經 営 学 部				7	14	7	10	8	9	6	10	3	8	6	7
特 経営学研究科										2	2			1	1
計	6	13	16	28	35	33	36	35	35	42	43	37	41	36	35
正 法 学 部		1	1	3	3	3	4	6	9	13	14	16	19	23	27
M 法学研究科						1	1							2	2
D 法学研究科															
特 法 学 部				1	2	1	1	3	5	2	3	3	7	9	10
特 法学研究科														1	1
計		1	1	4	5	5	6	9	14	15	17	19	26	35	40
M 理工学研究科															
D 理工学研究科															
特 理 工 学 部										1	1	1	1		
計										1	1	1	1		
正 社 会 学 部												1	1	3	3
M 社会学研究科										1	1	1	1	2	2
特 社 会 学 部														1	1
特 社会学研究科															
計										1	1	2	2	6	6
正 国 際 文 化 学 部															
M 国際文化学研究科															
特 国 際 文 化 学 部															
特 国際文化学研究科															
計															
正 短 期 大 学										1	1	1	1	2	2
留 学 生 別 科	11	7	24	38	43	49	46	39	42	35	47	39	44	39	45
合 計	26	38	64	99	114	125	130	135	146	167	192	187	213	227	241

凡例：D：博士課程 正：正規留学生
M：修士課程 特：特別留学生

留学生数推移 (受入) 所属別②

単位 (人)

	1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
正 文 学 部	13	13	18	16	11	11	12	12	13	13	7	7	6	6	8	8
M 文学研究科	9	9	10	10	12	12	11	11	8	8	10	10	10	9	6	6
D 文学研究科	12	12	14	14	8	8	7	6	3	3	6	6	6	6	8	8
特 文 学 部	8	7	5	7	8	7	9	9	7	7	7	9	12	10	6	6
特 文学研究科	1	1	2	2	5	5	4	4	3	3	3	3	5	5	5	5
D 研 究 生	1	1	2	2	5	6	4	4	6	6	4	4	3	3	3	3
計	44	43	51	51	49	49	47	46	40	40	37	39	42	39	36	36
正 經 济 学 部	62	68	62	58	60	56	61	56	57	48	45	36	32	34	38	46
M 経済学研究科	4	4	6	7	8	10	7	10	10	10	15	14	14	14	16	18
D 経済学研究科	1	2	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	5
特 經 济 学 部	3	5	5	3			2	4		2	5	5	2	5	2	4
特 経済学研究科					3	3	1	1					2	2		
D 研 究 生															1	1
計	70	79	76	71	75	73	75	75	71	65	70	60	55	60	61	74
正 經 营 学 部	21	21	20	19	14	12	9	9	8	8	6	6	6	5	14	13
M 経営学研究科	6	6	6	6	6	6	4	4	3	3	5	5	7	7	5	5
D 経営学研究科	3	3	3	3	4	4	5	5	4	4	3	3	1	1	1	1
特 經 营 学 部	1	3	6	6	2	4	3	5	5	8	4	5	4	2	3	3
特 経営学研究科					1	1										
計	31	33	35	34	27	27	21	23	20	23	18	19	18	15	23	22
正 法 学 部	28	26	25	25	26	25	15	13	13	10	7	4	6	6	12	13
M 法学研究科	4	4	6	6	9	9	11	11	8	7	5	5	7	7	5	5
D 法学研究科					1	1	3	3	4	4	7	7	7	6	5	5
特 法 学 部	12	10	5	4					1	2	2	1	2	3	3	1
特 法学研究科	3	3		1	1	1	1	1				2				
計	47	43	36	36	37	36	30	29	27	23	20	20	23	22	23	23
M 理工学研究科			1	1	1	1					1	1	1	1		
D 理工学研究科									1	1	1	1	1	1		
特 理 工 学 部	1	1	1	1			1	1	2	2	1	1				
計	1	1	2	2	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2		
正 社 会 学 部	4	4	4	4	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
M 社会学研究科	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1			2	1
特 社 会 学 部	1	1			1	1			1							
特 社会学研究科	1	1			1	1										
計	7	7	5	5	6	6	3	3	4	3	3	2	1	1	3	2
正 国 際 文 化 学 部					17	31	47	59	78	94	110	121	119	119	160	150
M 国際文化研究科													2	2	8	8
特 国 際 文 化 学 部							2	5	3			3	7	10	11	9
特 国際文化研究科														1	1	1
計					17	31	49	64	81	94	110	124	128	132	180	168
正 短 期 大 学	1	1	1	1		1	1								2	2
留 学 生 別 科	40	51	45	45	33	42	45	49	32	45	49	61	46	59	55	59
合 計	241	258	251	245	245	266	272	290	278	296	310	328	315	330	383	386

凡例：D：博士課程 正：正規留学生
M：修士課程 特：特別留学生

留学生数推移 (受入) 所属別③

単位 (人)

	2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学 文 学 部	12	12	13	13	16	15	18	18	18	17	18	19	18	18		
M 文 学 研 究 科	6	6	8	8	8	8	8	8	4	4	3	3	2	2		
D 文 学 研 究 科	8	8	5	6	7	7	7	7	9	9	6	6	6	6		
外 文 学 研 究 科 (D)			1													
特 文 学 部	4	4	1	1							1	1				
交 文 学 研 究 科 (M)			2	2	1						4					
交 文 学 研 究 科 (D)																
交 文 学 部	4	3	3	3	2	9	8	7	8	10	11	9	18	19		
交 文 学 研 究 科 (M)	3	3	2	2	5	8	7	7	3	3		4	4	3		
交 文 学 研 究 科 (D)			2	2	2	2										
交 文 学 研 究 科			3	3	2	2	3	3	4	4	8	8	5	5		
計	37	36	40	40	43	51	51	50	46	47	51	50	53	53		
学 経 済 学 部	54	61	66	72	74	72	69	73	72	69	74	72	75	74		
M 経 済 学 研 究 科	17	16	13	10	12	11	14	17	13	16	11	11	17	21		
D 経 済 学 研 究 科	6	6	5	8	8	7	8	8	6	6	7	6	5	6		
外 経 済 学 研 究 科 (M)																
外 経 済 学 研 究 科 (D)			3	1							1	1		2		
特 経 済 学 部				1	1		2	2	1	3	2		2	3		
交 経 済 学 研 究 科 (M)		1														
交 経 済 学 部	4	3	3				4	7	4	6	10	6	1			
交 経 済 学 研 究 科 (M)				2	2		2	3	1	1	1					
交 経 済 学 研 究 科 (D)			2	1	1	1	1									
交 経 済 学 研 究 科							1	1	1	2			1	1		
計	81	87	92	95	98	91	97	108	101	104	101	100	106	108		
学 経 営 学 部	17	17	20	19	29	29	30	30	29	29	32	32	35	34		
M 経 営 学 研 究 科	3	3	1	1	2	2	1	1	6	6	7	7	5	5		
D 経 営 学 研 究 科	1	1	1	1	1	1										
外 経 営 学 部			1	1												
特 経 営 学 部			2	2			1	1								
交 経 営 学 研 究 科 (M)																
交 経 営 学 部	1	1	3	4	2	4	7	5	8	8	9	11	10	9		
交 経 営 学 研 究 科 (M)							1	1						2		
計	22	22	28	28	34	36	40	37	43	43	48	50	50	50		
学 法 学 部	14	15	21	23	29	29	30	29	29	29	29	24	20	16		
M 法 学 研 究 科	3	3	5	5	6	6	5	4	3	5	5	7	5	4		
D 法 学 研 究 科	3	3	1	2	3	3	1	1	1	1			1	2		
外 法 学 部			1	1												
特 法 学 研 究 科 (D)	1	1			1	1										
交 法 学 部		2	2	4	4	3	4	5	5	5	5	6	8	11		
交 法 学 研 究 科 (D)		1	1	1	1											
交 法 学 研 究 科			1	1	1	1										
交 法 学 研 究 科			1	1	1	1										
計	21	25	33	38	46	44	40	39	39	41	41	39	34	33		
学 理 工 学 部	2	2	4	3	7	6	7	7	7	7	7	7	9	8		
M 理 工 学 研 究 科 (M)			1	1	1	1						1	1	2		
外 理 工 学 研 究 科 (M)	1	1														
特 理 工 学 部																
交 理 工 学 部	1								1	1				1		
交 理 工 学 部																
計	4	3	5	4	8	7	7	7	8	8	8	8	10	11		
学 社 会 学 部	2	2	2	2	4	4	5	5	4	4	4	4	5	5		
M 社 会 学 研 究 科	2	2	1	1			1	1	2	2	1	1	3	3		
D 社 会 学 研 究 科																
特 社 会 学 部	1	1					1	1								
交 社 会 学 部				1	2	1	1				2					
交 社 会 学 部 (M)																
計	5	5	3	4	6	5	8	7	6	8	8	6	11	11		
学 国 際 文 化 学 部	165	165	189	189	197	197	193	192	195	194	173	169	162	158		
M 国 際 文 化 学 研 究 科	9	9	10	10	13	13	14	14	12	13	14	16	13	14		
D 国 際 文 化 学 研 究 科	1	1	0	0	4	4	5	4	3	3	1	1	1	1		
外 国 際 文 化 学 研 究 科 (D)			2	2										2		
特 国 際 文 化 学 部								1	3	6	7	5	3	5		
特 国 際 文 化 学 研 究 科 (M)	1	1									3					
特 国 際 文 化 学 研 究 科 (D)											2					
交 国 際 文 化 学 部	7	6	9	12	8	8	12	5	4	10	15	14	11	8		
交 国 際 文 化 学 研 究 科 (M)		1	1	1		2	2	2	2		1	2	1			
交 国 際 文 化 学 研 究 科												3	3	3		
計	183	183	211	214	222	224	227	220	222	227	214	208	196	189		
法 務 研 究 科									1	1	1	1	1	1		
法 務 研 究 科	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	2	2	1	1		
留 学 生 別 科	45	53	48	41	34	41	29	35	33	36	24	33	32	44		
合 計	400	416	461	465	493	501	502	506	503	519	498	497	494	501		

凡例 学:学部生 M:修士課程生 D:博士後期生 外:外国人特別生 特:特別留学生 交:交換留学生 研:研究生 専:特別専攻生

留学生数推移（受入） 国別①

単位（人）

	1985	1986	1987	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
アイルランド															
アメリカ	7	5	7	5	5	3	3	4	6	3	9	6	6	7	4
イギリス		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1				
イスラエル															
イタリア				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
イラン											1	1	1	1	1
インド	1	1	2	1	1	1	1	1		1	1	1	1		
インドネシア		1	1												1
ウクライナ											2	2	3	2	2
ウルグアイ															
エチオピア															
オーストラリア									2	2	1	1	2	6	6
オーストリア															
オランダ	1														
ガーナ															
カザフスタン															
カナダ				2	1			1	1	1	2	1	2	1	1
カメルーン															
韓国	8	12	12	20	30	21	23	28	30	33	34	35	34	39	41
カンボジア															
ギニア															
クウェート															
ジャマイカ															
シンガポール									1	1				1	1
スイス												1	1		
スウェーデン															
スペイン															
スリランカ	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2
タイ	1	3	4	4	4	3	3					1	2	1	1
台湾	3	6	21	29	30	19	19	17	18	21	20	19	22	17	16
タンザニア															
中国	4	7	15	33	48	71	73	77	79	95	108	109	127	141	152
チリ															1
デンマーク											1	1			
ドイツ						1	1				1	1	2	2	3
トルコ									1						
ニューージーランド				1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1
ネパール															
ハンガリー															
バンラデシュ															
フィリピン				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
フィンランド															
ブラジル															
フランス															
ブルガリア															
ベトナム															
ベラルーシ															
ベリーズ															
ベルギー															
ポーランド															
香港				1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
マレーシア											1				
ミャンマー										2	2	2	2	2	2
メキシコ		1									1	1	1	1	2
モロッコ															
モンゴル															
ユーゴスラビア															
ラオス															
ルーマニア															
ロシア															
合計	26	38	64	100	126	125	129	135	146	167	192	187	213	227	241

留学生数推移（受入） 国別②

単位（人）

	1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
アイルランド																1
アメリカ	2	3	1	1		5	5	6	1	3	1	2	4	5	4	5
イギリス					1	2	3	2	2	2	1	2	2	1		
イスラエル									1	2	2					
イタリア																
イラン	1	1	1	1	1	1	1	2	1					1	1	
インド					2	2	1	1	1	1	1	1				
インドネシア	1	1	1	1			2	2	1	1	2	2	2	2	1	1
ウクライナ	2	2				2	3	3	1		2	2	1	1		2
ウルグアイ									1	1						
エチオピア																
オーストラリア	4	4	6	6	4	4	1	2	7	7	5	6	4	5	4	5
オーストリア											1	1	2			
オランダ												2			1	1
ガーナ															1	1
カザフスタン																
カナダ	1	1	2	2	2	1							1	1		
カメルーン																
韓国	47	50	50	48	39	41	37	35	34	31	31	30	27	23	21	20
カンボジア																
ギニア									1	1	1	1				
クウェート																
ジャマイカ																
シンガポール	1	1	1	1										1		
スイス														1	1	1
スウェーデン																1
スベイン													1			
スリランカ	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2
タイ	2	4	2	3	3	2	4	4	3	4	3	4	7	8	11	8
台湾	18	17	16	14	21	22	24	24	24	25	26	27	20	21	20	19
タンザニア							1	1								
中国	148	162	157	154	165	177	178	198	194	206	223	231	226	241	300	306
チリ	1	1	1	1	1	1	1									
デンマーク																
ドイツ	2	2	4	4	2	3	1	1	2	1		2	2	2	4	3
トルコ																
ニュージーランド	1	1	1													
ネパール									1	1	1					
ハンガリー																
パングラデシュ										1	2	2	1	1		
フィリピン	2															
フィンランド										1	1	1	1	2	2	
ブラジル					1	1	1	1	1	1						
フランス			1	1	1	2	1	1	1	2	3	6	6	6	5	3
ブルガリア																
ベトナム																1
ベラルーシ																1
ベリズ																
ベルギー												1	1	1		
ポーランド					1	1	1	1				1	1	1		
香港	1	1	1	2	3	2	1									
マレーシア	3	5	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ミャンマー	2	1	1	1									1	1	1	1
メキシコ																
モロッコ																
モンゴル																1
ユーゴスラビア					1	1	2	2								
ラオス																
ルーマニア																
ロシア										2	2	2	2	2	3	3
合計	241	258	251	245	253	274	272	290	278	296	310	328	315	331	383	386

留学生数推移（受入） 国別③

単位（人）

	2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
アイルランド	1															
アメリカ	2	1	4	6	3	3	4	3	5	10	10	12	10	11		
イギリス	1		1	3	2	6	6	1	1	2	2	1				
イスラエル																
イタリア										2	2					
イラン															1	
インド							1	1	1	1	1	1				
インドネシア	2	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	3		
ウクライナ	2	1	1	1		1	2	3	2	1	1	1	1	2		
ウルグアイ																
エチオピア															1	
オーストラリア	4	5	5	6	3	3	4	4	2	3	6	5	6	6		
オーストリア																
オランダ	1	1	1	1	1	2								1		
オーストリア	1	1														
カザフスタン										1						
カナダ	1	1	2	1	1	1	1	1	1			1	3	2		
カメルーン																
韓国	21	18	16	17	19	20	27	25	25	24	24	25	30	27		
カンボジア				3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	4		
ギニア	1	1	1	1	1	1										
クウェート					1	1	1	1								
ジャマイカ						1	1	1								
シンガポール	1	1								3	4	3	3	3	3	
スイス	1	1	1	1	1											
スウェーデン	1		1	1	1	4	4	3	3	1	2	2	2			
スペイン						1	1	2	1	2	2	6	6	3		
スリランカ	1	1	1	1	1										3	
タイ	10	10	6	5	6	7	7	7	7	7	7	7	8	6		
台湾	12	14	11	12	14	13	14	14	14	16	16	16	14	15		
タンザニア																
中国	327	344	391	388	414	411	399	408	398	406	380	375	368	378		
チリ																
デンマーク							1	1	2		3		3			
ドイツ	1	3	5	2	3	3	3	3	8	8	9	9	6	2		
トルコ							1	1		1	1					
ニュージーランド																
ネパール				1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	5		
ハンガリー															1	
パングラデシュ						1	1	1	1	1	1	1	1	1		
フィリピン																
フィンランド				1	1	1	4	5	3	2	2	3	2	4		
ブラジル									1			1	1	1		
フランス	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3	3	3	3		
ブルガリア							1	1								
ベトナム	1	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	3		
ベラルーシ										1	1	1	1			
ベリーズ															1	
ベルギー																
ポーランド										1						
香港									2	1	1					
マレーシア			2	2	3	3	3	4	5	5	2	3	3	3		
チャンマ	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	5	5	5	5		
メキシコ																
モロッコ															1	
モンゴル	1									1	1	2	3	3	3	
ユーゴスラビア																
ラオス															1	
ルーマニア												1				
ロシア	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
合計	400	416	461	465	493	501	502	506	503	519	498	497	494	501		

短期受入プログラム参加人数

単位 (人)

	ジョージ (アメリカ) 大学	マウントフォード (アメリカ) コミュニティカレッジ	アサンブション (タイ) 大学	西江大 (韓国) 学	UC-Ryukoku プログラム	アンティオック (アメリカ) カレッジ	南ミズーリ (アメリカ) 州立大学	サンノゼ (アメリカ) 州立大学	ランガラ (カナダ) カレッジ	
受入学部	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	国際文化学部	大学	大学	大学	大学	大学	計
2001	?				20					
2002	6				23					29
2003	9	9			19					37
2004		17	31		22					70
2005	7	15	7		22	14				65
2006	12	12	9		20	24	7	12	20	116
2007	8	11	15		20	20				74
2008		15	6	9	26	17	6			79

留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別①

単位(人)

西 暦	1985		1986		1987		1988		1989		1990		1991		1992		1993	
入 学 月	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10
志 願 者 数	11	7	8	15	12	14	34	16	38	9	110	42	46	45	21	34	46	34
合 格 者 数	11	5	7	13	12	14	30	16	38	9	20	24	24	30	21	21	23	22
手 続 者 数																		
入 学 者 数	11	5	7	13	12	14	30	16	34	8	17	22	20	26	18	20	21	19
男	8	3	3	7	7	7	13	9	27	2	10	11	10	14	12	11	9	7
女	3	2	4	6	5	7	17	7	7	6	7	11	10	13	6	9	12	12

入学者国別内訳

ア イ ル ラ ン ド																		
ア メ リ カ	2		1		2	1	1	1			1	2		7		2		
イ ギ リ ス		1										1	1					
イ ス ラ エ ル																		
イ ラ ン														1				
イ ン ド	1			1										1				
イ ン ド ネ シ ア																		1
オ ー ス ト ラ リ ア												2	1			1		
オ ー ス ト リ ア																		
オ ラ ン ダ	1																	
カ ナ ダ							2										1	
カ メ ル ー ン																		
韓 国	5	1	2		2	2	6		3	2	5	5	4	2	2	3	4	3
カ ン ボ ジ ア																		
ジ ャ マ イ カ																		
シ ン ガ ポ ー ル												1						1
ス イ ス																	1	
ス ベ イ ン																		
ス リ ラ ン カ								1								1		
ス タ ー ン																		
ス タ ー ン																		
台 湾			2	5	5	4	11	5		2	2	2	2			1		1
タ ン ザ ニ ア																		
中 国	2	3	1	7	3	4	11	9	28	3	9	8	10	12	15	10	15	10
デ ン マ ー ク																		
ド イ ツ										1				1		1		1
ト ル コ													1					
日 本						1												
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド														1				
ネ パ ー ル																		
ハ ン ガ リ ー																		
バ ン グ ラ デ ィ ッ シ ュ																		
フ ィ リ ピ ン									1	1								2
フ ィ ン ラ ン ド																		
ブ ラ ジ ル																		
フ ラ ン ス																		
ベ ト ナ ム																		
ベ ラ ル ー シ																		
ベ ル ー ー																		
ベ ル ギ ー																		
香 港										1								
マ ル タ															1			
マ レ ー シ ア																		
ミ ャ ン マ ー															1			1
メ キ シ コ			1															
モ ロ ッ コ																		
モ ン ゴ ル																		
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア																		
計	11	5	7	13	12	14	30	16	34	8	17	22	20	26	18	20	21	19

留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別②

単位(人)

西 暦	1994		1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001		2002	
入 学 月	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	9	4	9	4	9	4	9
志 願 者 数	29	33	50	50	35	45	44	42	47	49	59	66	47	95	78	105	80	58
合 格 者 数	21	26	22	22	26	27	24	21	21	27	23	27	24	31	28	24	27	21
手 続 者 数																		
入 学 者 数	16	24	19	17	20	25	21	17	14	27	21	24	18	27	27	20	21	19
男	10	13	10	13	6	20	13	7	4	15	9	14	8	13	8	9	9	7
女	6	11	9	4	14	5	8	10	10	12	12	10	10	14	19	11	12	12

入学者国別内訳

ア イ ル ラ ン ド																		1	
ア メ リ カ		1				3	2	1		2		2		1	1	1			
イ ギ リ ス					1														
イ ス ラ エ ル									1	1									
イ ラ ン								1	1					1					
イ ン ド																			
イ ン ド ネ シ ア																			1
オ ー ス ト ラ リ ア										1								1	1
オ ー ス ト リ ア												1							
オ ラ ン ダ																			
カ ナ ダ			1																
カ メ ル ー ン											1								
韓 国	5	2	3	4		3	2	4	2	2	1		4	1				1	
カ ン ボ ジ ア																			
ジ ャ マ イ カ																			
シ ン ガ ポ ー ル																			1
ス イ ス																			
ス ベ イ ン													1						
ス リ ラ ン カ	1																		
タ イ		2			1					1		1	2	2	2	1	2	1	
台 湾	1			1	1		1			1	1	1		1	1				1
タ ン ザ ニ ア								1											
中 国	8	17	13	9	16	17	13	9	9	16	18	16	10	19	21	16	15	12	
デ ン マ ー ク																			
ド イ ツ		1	2	1		2		1				1			1				2
ト ル コ																			
日 本										1									
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド																			
ネ パ ー ル										1									
ハ ン ガ リ ー																			
バ ン グ ラ デ ィ ッ シ ュ										1	1								
フ ィ リ ピ ン																			
フ ィ ン ラ ン ド										1									
ブ ラ ジ ル						1													
フ ラ ン ス				1										1	1				
ベ ト ナ ム																1			2
ベ ラ ル ー シ																			
ベ ル ー													1						
ベ ル ギ ー												1							
香 港				1				1											
マ レ ー シ ア		1												1					
ミ ャ ン マ ー	1																		
メ キ シ コ																			
モ ロ ッ コ																			
モ ン ゴ ル																		1	
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア							1												
計	16	24	19	17	20	25	21	17	14	27	21	24	18	27	27	20	21	19	

留学生別科志願者・合格者・手続者・入学者数推移 国別③

単位(人)

西 暦	2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010	2011
入 学 月	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9		
志 願 者 数	72	74	68	55	31	49	45	72	41	57	51	66	54			
合 格 者 数	25	20	21	21	17	28	19	33	19	34	25	36	21			
手 続 者 数							17	29	17	32	21	28	15			
入 学 者 数	20	18	14	16	13	17	11	17	10	19	11	22				
男	10	10	2	6	3	5	4	7	6	13	3	11				
女	10	8	12	10	10	12	7	10	4	6	8	11				

入学者国別内訳

ア イ ル ラ ン ド																
ア メ リ カ	1	1			1	1				1		2				
イ ギ リ ス	1															
イ ス ラ エ ル																
イ ラ ン													1			
イ ン ド									2							
イ ン ド ネ シ ア																
オ ー ス ト ラ リ ア												1				
オ ー ス ト リ ア																
オ ラ ン ダ				1									1			
カ ナ ダ	1										1					
カ メ ル ー ン																
韓 国		1				1	1		1							
カ ン ボ ジ ア		3														
ジャ マ イ カ				1												
シ ン ガ ポ ー ル								1				1				
ス イ ス																
ス ベ イ ン				1												
ス リ ラ ン カ イ																
タ イ			3	1	1					1		1				
台 湾					1		1	1	2	2	3	1				
タ ン ザ ニ ア																
中 国	16	12	10	10	10	13	6	10	4	10	6	14				
デ ン マ ー ク																
ド イ ツ	1							2	3	1	1					
ト ル コ																
日 本																
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド																
ネ パ ー ル		1														
ハ ン ガ リ ー													1			
バ ン グ ラ デ ィ ッ シ ュ				1												
フ ィ リ ピ ン																
フ ィ ン ラ ン ド						1										
ブ ラ ジ ル											1					
フ ラ ン ス								1								
ベ ト ナ ム											1					
ベ ラ ル ー シ				1												
ベ ル ー ー																
ベ ル ギ ー								1								
香 港								1								
マ ル タ																
マ レ ー シ ア																
ミ ャ ン マ ー			1			1										
メ キ シ コ																
モ ロ ッ コ												1				
モ ン ゴ ル											1					
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア																
計	20	18	14	16	13	17	11	17	10	19	11	22	0	0		

留学生別科学生進路先

修了者	2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
本学へ進学（学部・大学院生など正規学生）	2	16	4	6	6	9	3	8	5	8	8	9	2	8	4	6
本学へ進学（研究生など非正規学生）				1		1		4	1							2
他大学へ進学（学部・大学院生など正規学生）		3		4	1		1	2		1						2
他大学へ進学（研究生など非正規学生）	3	3		0			1	2			2		1		1	1
専門学校へ進学		3	2	2		1		2				2				4
本学留学生別科延長申請	15	8	14	12	8	6	12	4	7		8	1	7	4	12	2
帰国	3	2	2	2	5	2	1	3	2		3	6	4	3	2	2
就職		0		0	1	1										2
その他（未定者を含む）	1	4	2	7	3	2	2	1		2	1	1		1	2	2
合計（人）	24	39	24	34	24	22	20	26	15	11	22	19	14	16	21	23

依願退学者（修了前進路決定者）	2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
本学へ進学（学部・大学院生など正規学生）		2		1					1			1				2
本学へ進学（研究生など非正規学生）					1											
他大学へ進学（学部・大学院生など正規学生）																2
他大学へ進学（研究生など非正規学生）	2	1			1											
専門学校へ進学					1											
本学留学生別科延長申請																
帰国					3							1				
就職			1													
その他（未定者を含む）					1											
合計（人）	2	3	1	1	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4

交換留學生數推移（派遣） 学部別

單位（人）

西 曆	2006	2007	2008	2009	合 計
文 学 部	13	11	3		27
文 学 研 究 科	3	1	1		5
經 济 学 部	1	6	9		16
經 济 学 研 究 科	1				1
經 营 学 部	7	7	8		22
法 学 部	5	2	6		13
理 工 学 部	1				1
理 工 学 研 究 科	1	1	2		4
社 会 学 部	2	1			3
国 際 文 化 学 部	13	16	12		41
国 際 文 化 学 研 究 科	1	2	1		4
短 期 大 学 部		1			1
合 計	48	48	42	0	138

私費留学生数推移（派遣） 学部別

単位（人）

学 部 名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
文 学 部	8	7	3	5	1	2	1	1
文 学 研 究 科	4		4			1	1	
経 済 学 部	6	6	1	5	3	2	1	2
経 営 学 部	1		4	2	2	1		1
法 学 部	5	3	5	3	1		1	1
法 学 研 究 科							1	
理 工 学 部								
社 会 学 部						1		
国 際 文 化 学 部	48	47	83	113	101	120	86	90
国 際 文 化 学 研 究 科	1	1	1		1			
短 期 大 学 部								
合 計	73	64	101	128	109	127	91	95

BIEプログラム参加者数推移 学部別

単位（人）

学 部 名	2006		2007		2008		2009	
	semester	5-week	semester	5-week	semester	5-week	semester	5-week
文 学 部	5	12	14	8	13	9		
文 学 研 究 科								
経 済 学 部	6	4	7	7	9	11		
経 営 学 部	4	10	7	13	8	3		
法 学 部	2	11	3	3	4	10		
法 学 研 究 科								
理 工 学 部		3	1	6		1		
社 会 学 部	3	7	5	4	4	4		
国 際 文 化 学 部	18	12	30	5	16	10		
国 際 文 化 学 研 究 科								
短 期 大 学 部				1				
合 計	38	59	67	47	54	48	0	0

私費留学生数推移（派遣） 国別

単位（人）

地域	留学先	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
アジア	インドネシア	1							
	韓国	2		3	2		1	1	
	シンガポール					1			1
	タイ	1		2	1	1			1
	台湾					1	1		1
	中国	15	14	8	8	9	6	4	2
	ネパール							1	
	マレーシア		1		1				
中南米	メキシコ		1						
中近東	レバノン				1				
北米	アメリカ	16	6	14	16	15	17	14	24
	カナダ	11	9	13	27	26	34	22	27
オセアニア	オーストラリア	4	9	33	44	37	39	31	23
	ニュージーランド	1	2	7	9	2	7	6	6
ヨーロッパ	アイルランド			2	4	3	2	2	
	ウクライナ	1							
	英国	11	4	11	8	9	6	6	
	スウェーデン	1		1					
	スペイン		2			1			
	ドイツ	1			2				
	フランス	8	16	7	5	4	13	4	10
	マルタ						1		
合計		73	64	101	128	109	127	91	95

サマーセッション・スプリングセッション 参加人数

単位 (人)

実施年度	ハワイ	ノースリッジ	海外英語研修講座 (サンタバーバラ)	スターリング	海外研修 (パークレイン・英語コミュニケーションコース・文学部)	海外中国語研修講座 (上海)	海外英語研修・国際文化交流研修 (ニューシラント・文学部(短期))	海外社会事情	海外研修 (短期 大学部)	短期海外研修(国際文化学部)											合計			
										アメリカ	カナダ	イギリス	アイルランド	オーストラリア	ニュージーランド	マルタ	中国	インド	フランス	大韓民国		タイ	小計	
1983	38																						38	
1984	45																							45
1985	79																							79
1986	67																							67
1987	87																							87
1988	76	32																						108
1989	41	34		13																				88
1990	20	38		14	20	28	42																	162
1991		43			12	15	40	20 (ドイツ)																110
1992		36			19	32	40	19 (フランス)																127
1993			34		18	29	10	15 (韓国)																91
1994			31		17	28	23																	99
1995			32		22	24	22																	100
1996			31		21	20	22	38 (オーストラリア)																94
1997			28		11	27	19	-																85
1998			12		12	23	18	40 (カナダ)	7	-	10	23	-	-	32	8	6					86	151	
1999			26		4	17	19	-	16	23	19	22	-	-	13	15	2					110	176	
2000			16		7	16	14	35 (オーストラリア)	10	17	9	22	-	-	14	4	3					79	132	
2001			15		16	14	9	-	12	22	12	32	-	-	10	6	2					96	150	
2002			17		9	11	15	40 (北欧)	-	20	-	34	-	-	-	-	-					54	106	
2003	2003年度 中止 (SARSのため)									-	-	-	58	-	22	-	-	-					80	80
2004			26		14	23	21	64 (北欧)	15	18	-	40	-	-	5	-	7					85	169	
2005					20	12	25	-	10	16	-	36	10	22	-	-	9					103	160	
2006					22	12	13	23 (北欧)	13	16		29		11			5					74	121	
2007					23	11	24	-	23	37	1	1	45	4	1	4	1				12	130	188	
2008					8	10	17	-	13	39			21	1		2						84	119	